

我孫子市第三次総合計画第三次基本計画 見直し

我孫子市第三次総合計画

基本構想（平成 23 年改定）	平成 14～33 年度
第三次基本計画	平成 28～令和 3 年度
第三次基本計画見直し	平成 31 年度

目次

1. 計画見直しの趣旨	1
2. 計画の期間	1
3. 見直しにあたっての基本的な視点	1
4. 指標及び目標値の修正について	1
5. 指標からみる施策の達成状況	2
6. 指標及び目標値について	4
第一部 環境	4
第一章 手賀沼をはじめとする自然環境の保全・再生・活用	4
第一節 手賀沼の浄化・再生	4
第二節 手賀沼の魅力化	6
第三節 自然の一体的保全・活用	7
第四節 暮らしの中の自然の育成	8
第二章 環境にやさしい暮らしの実現	9
第一節 環境負荷低減への取り組み	9
第二節 公害・生活環境悪化の防止	11
第二部 産業	12
第一章 地域に根ざした産業の活性化	12
第一節 商業の振興	12
第二節 観光の創出	13
第三節 工業の振興	15
第四節 新たな産業の振興と雇用の安定・創出	16
第二章 我孫子らしい農業の振興	18
第一節 農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全	18
第二節 地域と連携した農業の育成	19
第三部 健康福祉	20
第一章 健康な生活を支える体制の整備	20
第一節 保健サービスの充実	20
第二節 医療体制の確立	22
第二章 地域で支え合う福祉の充実	23
第一節 地域で支え合う福祉の充実	23
第三章 必要なときに必要に応じて受けられる福祉サービス体系の確立	24

第一節	子育て支援	24
第二節	高齢者支援	26
第三節	障害者支援	28
第四章	互助と自助による生活の保障	30
第一節	互助と自助による生活の保障	30
第四部	市民活動	32
第一章	市民の自主的なまちづくり活動への支援	32
第一節	市民交流支援	32
第二節	市民公益活動支援	33
第三節	コミュニティ活動支援	34
第四節	消費者の安全・安心の確保	35
第二章	男女が共に参画する社会の形成	36
第一節	男女が共に参画する社会の形成	36
第三章	国際性をはぐくむ市民活動の活性化	37
第一節	国際化への対応	37
第二節	外国人もくらしやすいまちの実現	39
第五部	生涯学習	40
第一章	市民が生涯にわたっていきいきくらすための学習体制の充実	40
第一節	生涯学習機会の充実	40
第二節	生涯学習体制の整備	41
第三節	スポーツの振興	42
第二章	子どもの創造性と自主性をはぐくむ教育の充実	44
第一節	学校教育・幼児教育の充実	44
第二節	地域に根ざした教育の充実	46
第三節	子どもの成長・自立への支援	47
第三章	文化芸術活動への支援と地域文化の継承	48
第一節	文化芸術の振興	48
第二節	地域文化の保存と継承	50
第三節	歴史的・文化的遺産の保存・活用	51
第六部	都市基盤	53
第一章	適正な土地利用の実現	53
第一節	適正な土地利用の実現	53
第二章	良好な住環境を支える生活基盤の整備	55
第一節	公園・緑地の整備・充実	55
第二節	下水道整備の推進	56
第三節	上水道の安定供給	58
第四節	都市排水施設の整備・充実	60

第三章 総合的な交通環境の整備	61
第一節 幹線道路網の整備	61
第二節 生活道路の整備	62
第三節 徒歩・自転車環境の整備	64
第四節 公共交通の利便性の向上	65
第五節 交通安全	67
第四章 良質な住宅供給の促進	68
第一節 良質な住宅供給の促進	68
第五章 魅力あるまち並みの実現	69
第一節 魅力あるまち並みの実現	69
第七部 防災・防犯・危機管理	70
第一節 災害に強いまちの実現	70
第二節 消防体制・救急救助体制の強化	71
第三節 犯罪のないまちの実現	72
第四節 危機管理の推進	73
第四編 計画推進のために	74
第一章 市民と市が協働ですすめるまちづくりの推進	74
第一節 市民と市の情報共有の推進	74
第二節 協働のしくみづくり	76
第二章 地域コミュニティづくりの推進	77
第一節 地域コミュニティづくりの推進	77
第三章 総合的・効率的な行財政運営	78
第一節 総合的・計画的な行政運営	78
第二節 行政改革の推進	79
第三節 効率的・効果的な財政運営	81
第四章 広域行政の推進	82
第一節 広域行政の推進	82
7. 本文の見直しについて	84
資料	87
1. 第三次総合計画第三次基本計画の見直しについての諮問書	87
2. 第三次総合計画第三次基本計画の見直しについての答申書	88
3. 第三次基本計画の見直しに係る策定参加者名簿	89

1. 計画見直しの趣旨

平成28年から平成33年の6年間を計画年度としている我孫子市第三次基本計画については、市長が掲げる政策の反映を考慮し、今年度、見直しを行うこととしています。

本計画は、現市長が平成27年度までに掲げた政策を反映した計画となっています。

そこで、全体的な内容の修正は行わず、平成27年度以降、新たに取り組んだ政策または変更・終了・廃止した政策のみを反映し、「第二編 分野別計画」に修正・加筆するものとします。

なお、全体的な修正等については、現在、同時に策定を進めている第四次総合計画に反映していきます。

2. 計画の期間

基本計画の計画期間は、令和2（2020）年度から令和3（2021）年度までの2年間とします。

3. 見直しにあたっての基本的な視点

見直しにあたっての基本的な視点は、次のとおりとします。

- (1) 平成27年度以降、新規または大きく施策の方向性を変更または、終了した内容のみを修正します。
- (2) 令和3（平成33）年度の目標値について、達成しているもの、明確な理由により達成できないことが明らかとなっているもの、設定した指標自体が変更となっているもののみ変更します。

4. 指標及び目標値の修正について

- (1) 平成30年度までの実績を踏まえ、順調に進んでいる事業については、現状維持または上方修正しています。
- (2) 制度や算出方法に変更があったもの、市の方針転換や明確な理由により目標値が大幅に下回るものについては、指標名と目標値を修正しています。
- (3) 平成26年度の現況値に誤りがあったものについて修正しています。

5. 指標からみる施策の達成状況

【目標を達成した主な指標】

- 手賀沼親水広場・農業拠点施設の年間延べ利用者数（22201）
- 保育園への入園を希望する児童の入園率（33103）待機児童ゼロ継続
- 学童保育室とあびっ子クラブとの一体的な運営を実施している小学校の数（33104）平成30年度に目標達成
- 自由通路の累計整備個所数（63403）平成29年度に目標達成
- 各駅エスカレーターの累計設置数（63403）平成28年度に目標値達成
- 市ウェブサイトへの年間アクセス数（81101）
- 救命講習会年間受講者数（70202）

【目標を達成できなかった主な指標】

- 新たな廃棄物処理施設の整備率（12103）
- 集団化が完了した企業数（21301）
- JR成田線の増発本数（63401）
- 下新木踏切道の歩道整備延長（63201）

【指標設定していない事業で達成できなかった施策】

- 都市計画道路3・4・14号手賀沼公園・久寺家線の整備
地権者や関係機関等との交渉・調整等に時間を要したことから、目標の平成32（令和2）年までの完了が見込めない状況となりました。

【目標値に対する達成度】

- ◇全施策数 244件
- ◇平成30年度時点の進捗率が56%以上または目標値を達成した施策数 114件
- ※平成26年度の実績を基準値（0%）とし、令和3年度の目標値を100%とした場合、7か年のうち4年目となる平成30年度時点の実績値が目標値の56%に達していれば順調に進んでいるものとする。
- ◇方針変更により目標値を変更したあるいは達成しない施策数 6件
 - ・新たな廃棄物処理施設の整備率（12103）
 - ・集団化が完了した企業数（21301）
 - ・学校給食への地元農産物を供給した回数（22201）
 - ・全国学力・学習状況調査における全国平均との比較（52102）
 - ・学校に配置したタブレット端末の台数（52104）
 - ・ファイリングシステム維持管理点検評価の5段階評価のうちB評価（81103）
- ◇状況等の変化により、目標値を達成しない施策数 5件
 - ・路上喫煙指導件数（12201） 喫煙者の減

- ・協定救急病院への救急搬送率（31201）傷病者の要望・病態によるもの
- ・こども発達センターが行う発達に支援が必要な子どもに対する支援件数（33106）子どもの数の減
- ・高齢者なんでも相談室への相談件数（33204）相談者数の減
- ・市政への手紙・メール受付件数（81102）要望等数の減

◇関係機関等との交渉や諸事情により目標値を達成しない施策数 2件

- ・子どもを対象としたさまざまな体験事業数（33104）教員の負担減を図るために事業廃止
- ・市道24-003号線等（妻子原地先）の改良事業の進捗率（63201）埋設物の移設が困難なため

◆全体考察

第三次基本計画では、5つの重点プロジェクト「手賀沼をはじめとする我孫子ならではの自然を大切に、環境にやさしいくらしをはぐくむまちづくり」「我孫子の資源をいかし、豊かな地域を創り出す活力あるまちづくり」「みんなが安全にくらせるまちづくり」「若い世代に選ばれるまちづくり」「誰もが生涯をとおして、健康で自立した生活を安心しておくれるまちづくり」を掲げ、総合的かつ効果的に実施してきました。

施策全体では、全施策数244件から、さまざまな理由により目標値を達成しない施策13件を差し引いた231件に対し、「平成30年度時点の進捗率が56%以上または目標値を達成した」施策数が114件となっています。

達成状況としては、不十分な施策もありますが、着実に進めていることから、おおむね妥当であったと判断します。

順調に進んでいるものと目標を達成した施策については、引き続き事業を推進するとともに、順調に進んでいない施策については、さらなる工夫をしながら目標達成に向けて、着実に進めていきます。

さらに、市民アンケートにおいて、満足度が低い施策と重要とされている施策については、課題等を整理するとともに、今後の事業展開を検討し、より一層の推進を図っていきます。

なお、現総合計画の指標を活用して「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における重要業績評価指標（KPI）を設定していますが、有識者会議による中間評価において、再度、現状を踏まえた重要業績評価指標（KPI）の見直しを行っています。そこで、第四次総合計画における指標設定の際には、有識者会議において修正した重要業績評価指標（KPI）を反映していくものとします。

6. 指標及び目標値について

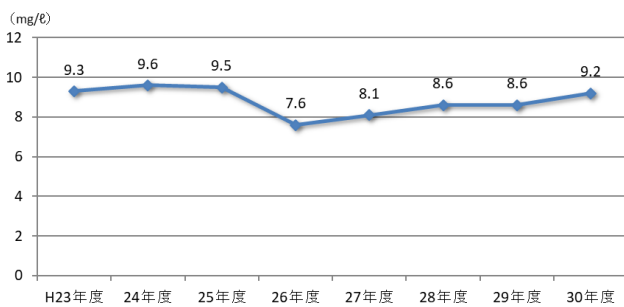
第一部 環境

第一章 手賀沼をはじめとする自然環境の保全・再生・活用

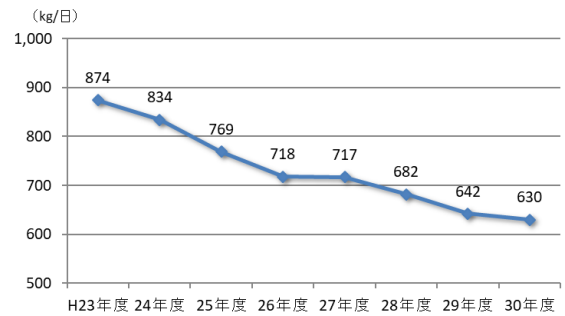
第一節 手賀沼の浄化・再生

現状

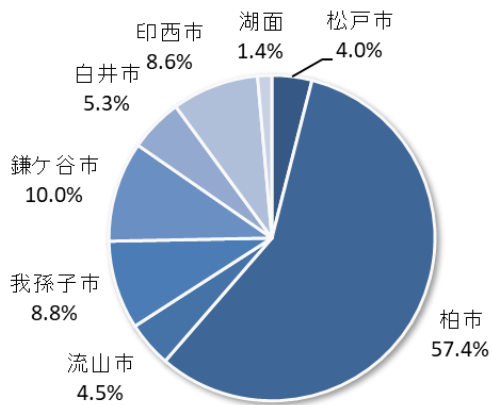
■手賀沼のCOD年平均値



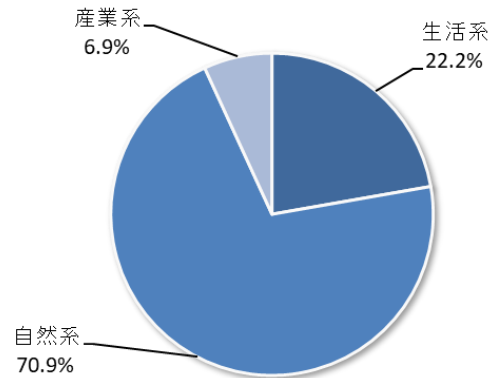
■手賀沼に流入する生活系COD排出汚濁負荷量



■手賀沼流域の市別COD排出汚濁負荷割合 (H30年度)



■手賀沼の発生源別COD排出汚濁負荷割合 (H30年度)



目標・指標

目標

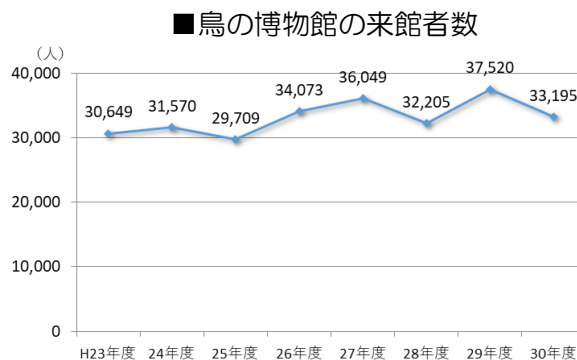
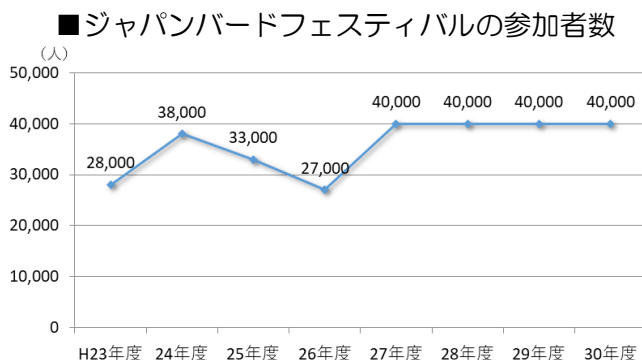
【11101】国、県、自治体、市民の多様な主体による浄化活動が展開されている。

【11102】手賀沼に流入する生活系・自然系COD排出汚濁負荷量が削減されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
第 7 期手賀沼に係る湖沼水質保全計画の達成率 (平成 28 年度 50%、29 年度 60%、30 年度 70%、31 年度 80%、32 年度 90% の目標値に対する達成率) 11101	—	—	10.6%	22.2%	35.6%	100%
手賀沼のCOD年平均値の目標達成率 (目標値 5.0mg/ℓ に対しての達成率) 11102	65.7%	61.7%	58.1%	58.1%	54.3%	70%

第二節 手賀沼の魅力化

現状



目標・指標

目標

- 【11201】手賀沼とその周辺の自然環境が保全されている。
- 【11202】手賀沼に親しめる交流拠点などが魅力的な交流空間になっている。
- 【11203】市内外の人々が手賀沼の魅力にふれあう機会が充実している。

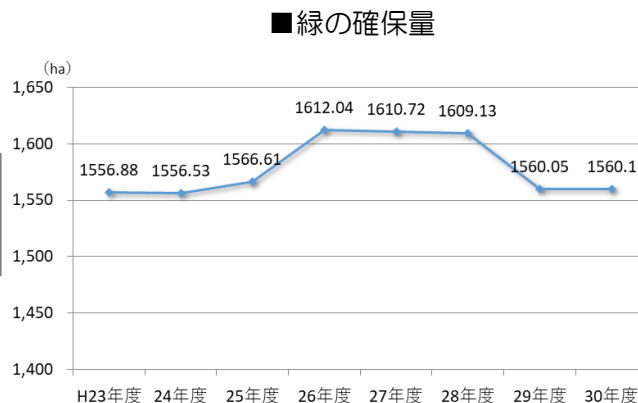
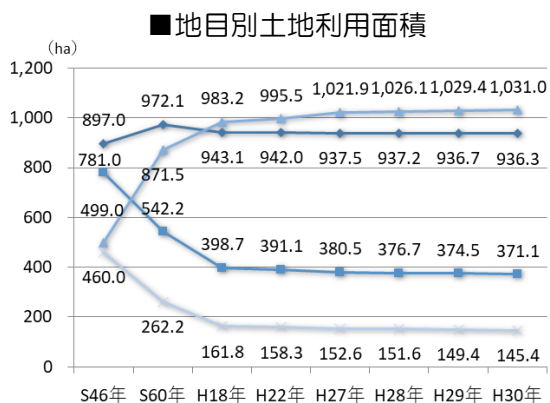
指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
手賀沼沿い斜面林保全条例による指定・取得面積 11201	<u>6.2ha</u>	5.4ha	5.3ha	5.5ha	5.6ha	7.0ha
手賀沼沿いの交流空間となる施設の入場者数 (手賀沼親水広場、鳥の博物館、旧村川別荘・白樺文学館・アピスタの合計) 11202	181,584 人	264,216 人	211,251 人	611,524 人	715,064 人	<u>720,000</u> 人
ジャパンボードフェスティバルの参加者数 11203	27,000 人	40,000 人	40,000 人	40,000 人	40,000 人	40,000 人
ジャパンボードフェスティバルの出展件数 11203	150 件	170 件	160 件	180 件	188 件	<u>190 件</u>

【主な変更点と理由】

- 手賀沼沿いの交流空間となる施設の入場者数、ジャパンボードフェスティバルの出展件数
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第三節 自然の一体的保全・活用

課題



目標・指標

目標

- 【11301】豊かな自然環境を保全・活用する事業が推進されている。
- 【11302】市民や団体による自主的な環境保全活動が広がっている。
- 【11303】外来生物の移入が防止されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
緑の確保量 (都市公園、指定緑地、農用地区域、自然公園特別区域などの面積) 11301	1,612ha	1,611ha	1,609ha	1,560ha	1,560ha	1,600ha以上を維持
市民による環境保全活動の年間延べ人数 (手賀沼清掃参加者、環境レンジャー活動参加人数、みどりのボランティア、古利根沼水辺清掃参加者の合計) 11302	1,024人	1,173人	980人	1,060人	1,936人	1,200人
市内で生育・生息している特定外来種の確認数(種) 11303	12種	13種	13種	17種	18種	18種

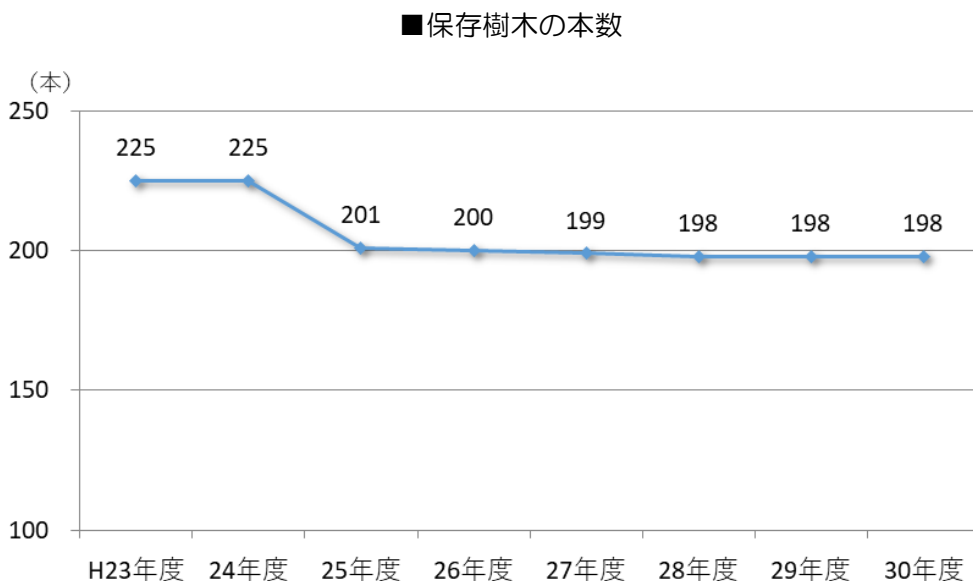
【主な変更点及び理由】

○市内で生育・生息している特定外来種の確認数(種)

現状を維持する観点から、実績値と同等の目標値に修正

第四節 くらしの中の自然の育成

現状



目標・指標

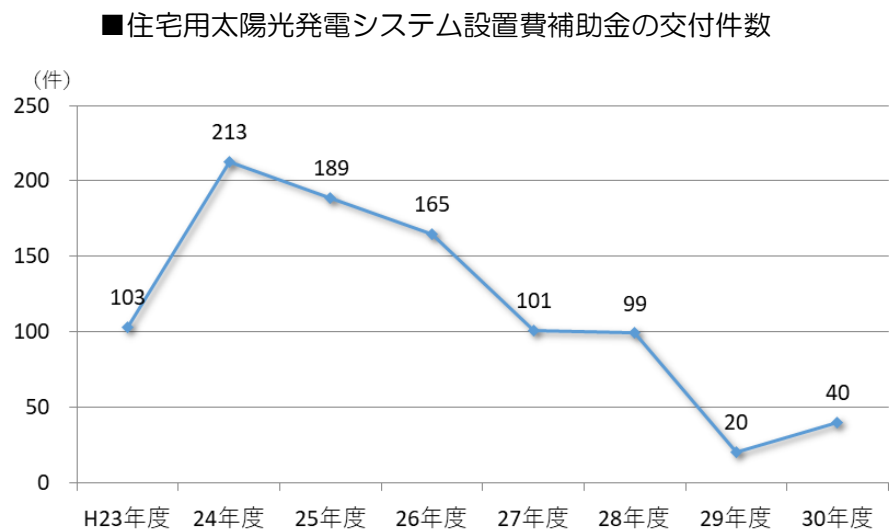
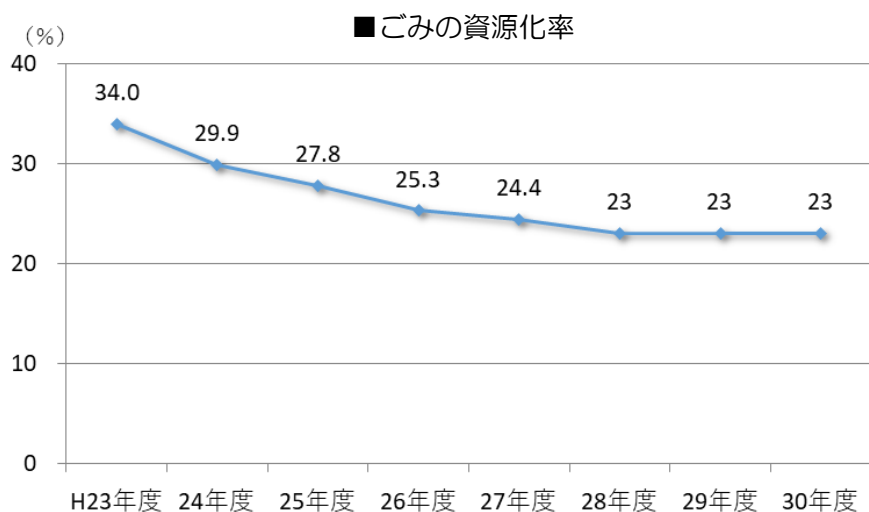
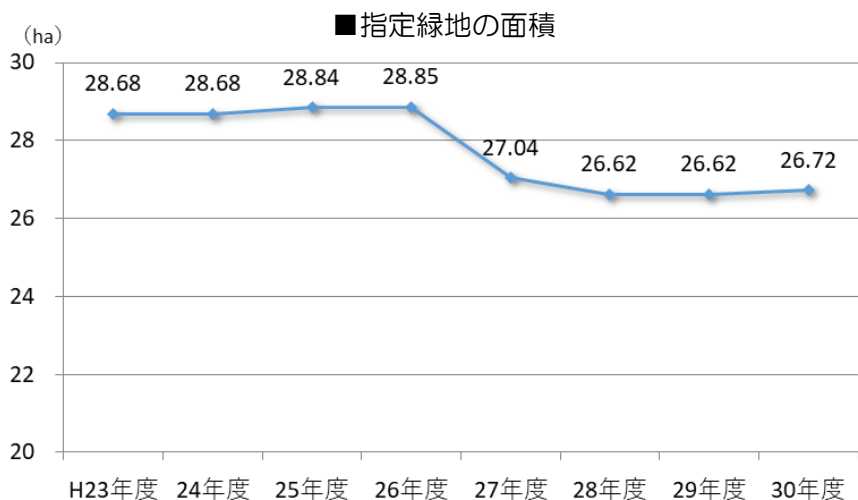
目標 【11401】 地域ぐるみで一体的な緑化が進められている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
緑地協定締結累計件数 11401	<u>6 件</u>	6 件	6 件	6 件	6 件	10 件
緑の講習会受講者数 (現況値は、園芸教室、剪定講習、ガーデニング講習の合計受講者数) 11401	178 人	193 人	309 人	189 人	208 人	250 人
公共公益空間での市民による緑化の取り組み件数 (公園や駅前ロータリー、街路樹ますの花壇づくりなど) 11401	<u>36 件</u>	35 件	47 件	40 件	36 件	45 件

第二章 環境にやさしいくらしの実現

第一節 環境負荷低減への取り組み

現状



目標・指標

目標

- 【12101】 温室効果ガスの排出量が削減されている。
- 【12102】 ごみの発生が抑制されている。
- 【12103】 環境負荷の少ない新たな廃棄物処理施設の整備が完了している。
- 【12104】 健全な水循環が確保されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
自治会が管理する LED 街路灯の設置率 12101	47.9%	76.7%	87.9%	93.1%	96.7%	100%
市の事業（廃棄物処理事業も含む）を通して排出される CO ₂ の量 12101	26,794t- CO ₂	26,884t- CO ₂	27,648t- CO ₂	26,946t- CO ₂	27,291t- CO ₂	25,720t- CO ₂
1 人 1 日当たりの総ごみ（可燃・不燃・資源）排出量 12102	851 g	856 g	837 g	816 g	830 g	808 g
最終処分量（放射能対策分を除く） （※資源化率から変更） 12102	- (25.3%)	- (24.4%)	- (23%)	- (23%)	3,404 t (23.2%)	3,000 t (30%)
新たな廃棄物処理施設の整備率 12103	0%	0%	0%	0%	0%	55%
指定緑地・市民の森・保全緑地の面積 （手賀沼沿い斜面林保全条例と緑地等の保全及び緑化の推進に関する条例による指定緑地面積・市が取得し管理している緑地） 12104	50ha	50ha	50.7ha	50.6ha	49ha	50ha

【主な変更点及び理由】

○自治会が管理する LED 街路灯の設置率

当初は、「【63203】 その地域や道路にふさわしい、魅力ある快適な道路空間となっている。」、
「【70302】 市民が安全に生活できる環境が整備されている。」ことを目的に推進していたが、
現在は、「【12101】 温室効果ガスの排出量が削減されている。」ことを目的に推進していることから、新たに指標を設定

○資源化率 → 最終処分量（放射能対策分を除く）

ごみの発生を抑制する社会情勢により、最終処分量の減少を目標とするため、指標と目標値を変更

○新たな廃棄物処理施設の整備率

地元との協議や施設建設に伴う課題が発生したことにより、令和 4 年度の完成に向け推進していることから、目標値を変更

第二節 公害・生活環境悪化の防止

現状

■公害苦情件数（件）

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
大気汚染	2	1	1	1	3	1	2	1
水質汚濁	1	1	1	2	1	0	1	0
土壌汚染	1	0	1	0	0	1	0	0
騒音	13	23	27	30	29	20	19	21
振動	0	6	4	1	1	3	3	1
地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0
悪臭	8	24	19	17	11	11	9	6
合計	25	55	53	51	45	36	34	29

目標・指標

目標 【12201】 公害の発生を未然に防止し、良好な生活環境が維持されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
「公害・生活環境悪化の防止」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 12201	—	44.3%	—	—	34.6%	50%
大気中の二酸化窒素濃度の環境基準達成率 (40ppb以下の地点の割合) 12201	100%	100%	100%	100%	100%	100%を維持
一般地域の騒音環境基準達成率 12201	100%	100%	100%	100%	100%	100%を維持
路上喫煙指導件数 12201	737件	648件	628件	570件	335件	335件
不法投棄量 12201	12.43 t	14.19 t	9.08 t	7.3 t	5.6 t	5 t

【主な変更点及び理由】

○路上喫煙指導件数

路上喫煙者が年々減少傾向にあるため、目標値を下方修正

○不法投棄量

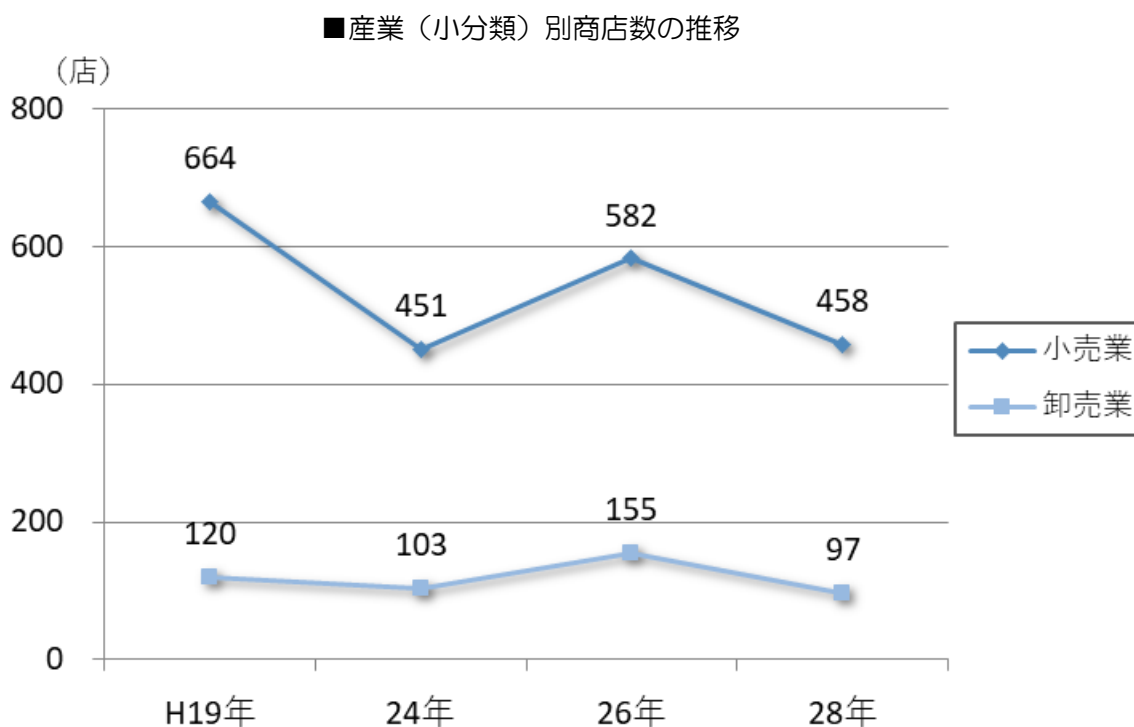
不法投棄を減らすことが目的であることから、目標値を下方修正

第二部 産業

第一章 地域に根ざした産業の活性化

第一節 商業の振興

課題



目標・指標

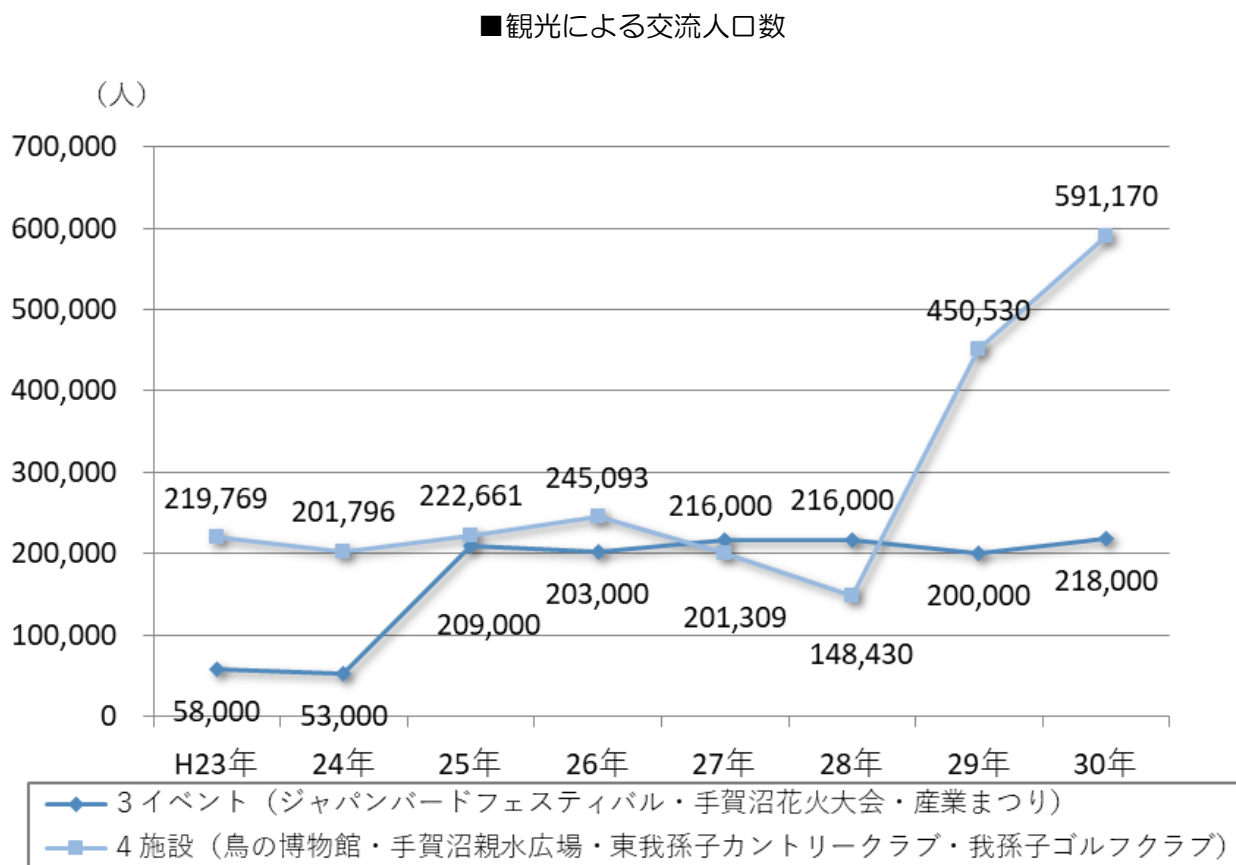
目標

- 【21101】 市内商業者による地域に密着した商業展開が図られている。
- 【21102】 商業団体と市民や農業者などとの連携により、商業が活性化している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
我孫子市ふるさと産品の品数 21101	20 品	20 品	20 品	25 品	26 品	28 品
空き店舗活用補助金交付件数 21101	19 件	8 件	8 件	3 件	7 件	平成 31 年度 に制度廃止
商業団体のイベント数 21102	9 件	9 件	9 件	9 件	9 件	9 件

第二節 観光の創出

目標・指標



目標・指標

目標

【21201】 市内外の多くの人々が我孫子で楽しみ、交流人口が拡大している。

【21202】 観光やイベントなどの地域情報が絶えず発信されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
観光による交流人口数 (3 イベント: ジャパンバードフェスティバル・手賀沼花火大会・産業まつり) 21201	203,000 人	216,000 人	216,000 人	200,000 人	218,000 人	219,000 人
観光による交流人口数 (4 施設: 鳥の博物館・手賀沼親水広場・東我孫子カントリークラブ・我孫子ゴルフ倶楽部) 21201	245,093 人	201,309 人	148,430 人	450,530 人	591,170 人	592,000 人
我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」の来館者数 21202	31,109 人	36,001 人	41,794 人	41,803 人	40,228 人	42,000 人
我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」のHPアクセス数 21202	39,549 件	64,515 件	63,574 件	51,119 件	84,065 件	110,000 件

【主な変更点及び理由】

○観光による交流人口数

(3 イベント: ジャパンバードフェスティバル・手賀沼花火大会・産業まつり)

実績値が目標値に達したことによる上方修正

○観光による交流人口数

(4 施設: 鳥の博物館・手賀沼親水広場・東我孫子カントリークラブ・我孫子ゴルフ倶楽部)

手賀沼親水広場のリニューアルオープンに伴い、利用者が増加傾向にあることから、目標値を上方修正

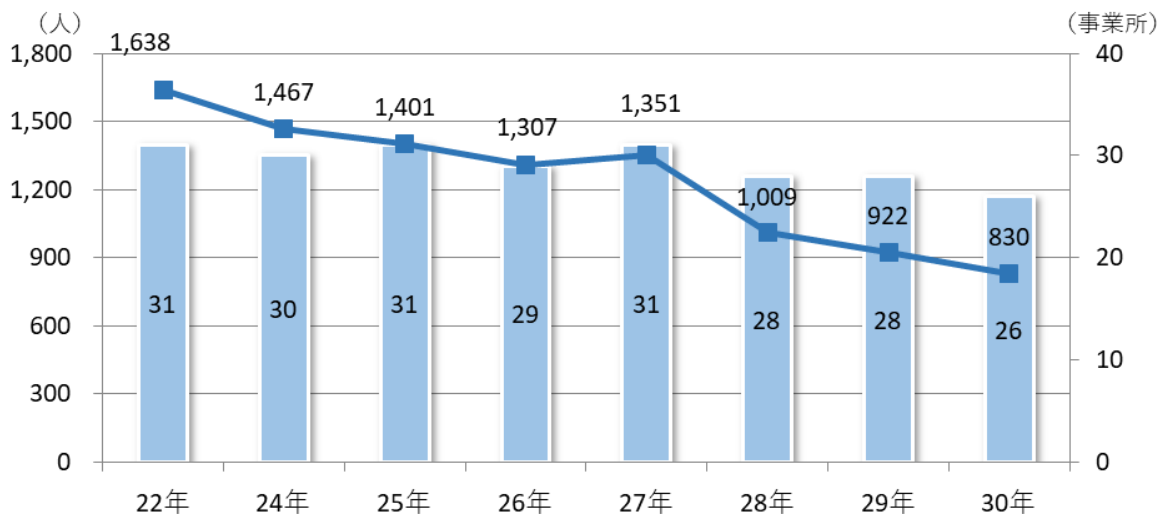
○我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」の来館者数

イベントの開催、毎月発行している情報誌「アビプレ」やSNSなど情報発信を強化したことで大幅に増加したことから、目標値を上方修正

第三節 工業の振興

現状

■製造業（従業員4人以上）事業所・従業員数の推移



目標・指標

目標

【21301】市内の工業、製造業系の企業の集団化が進んでいる。

【21302】市内中小企業の経営の安定化や設備の拡充が進んでいる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
集団化用地の創出に取り組む地区数 (※「集団化が完了した企業数」から変更) 21301	- (0社)	- (0社)	- (0社)	- (0社)	0地区 (0社)	1地区 (6社)
融資申込件数に対する貸付実行件数の割合 21302	89%	96%	95.4%	92.7%	100%	100%
設備の拡充に対する支援策の数 21302	1件	1件	1件	1件	1件	2件

【主な変更点及び理由】

○**集団化が完了した企業数** → **集団化用地の創出に取り組む地区数**

これまで検討を進めてきた場所での事業を断念したことによる指標と目標値の変更

第二部 産業

第四節 新たな産業の振興と雇用の安定・創出

現状

■市内産業の従業者数

	平成8年	11年	13年	16年	18年	21年	24年	26年	28年
総数	32,491	28,654	32,293	27,364	29,823	32,491	27,951	31,307	27,757
農林漁業	18	X	X	13	25	18	40	25	26
鉱業	0	0	X	0	0	0	0	0	0
建設業	2,110	2,005	2,027	1,823	1,766	2,110	1,815	1,677	1,704
製造業	5,269	4,928	4,132	2,609	2,133	1,861	1,699	1,483	709
電気・ガス・熱供給・水道	126	…	87	50	104	103	X	X	…
情報通信業				2,907	2,138	2,480	2,041	2,067	1,726
運輸業・郵便業	1,144	892	1,278	768	813	1,203	992	1,102	1,150
卸売・小売業	10,044	9,236	10,062	6,854	6,832	6,455	5,767	5,844	5,690
金融業・保険業	823	712	446	546	520	529	520	413	485
不動産業 (H21年度から不動産業・物品賃貸業)	533	473	452	486	487	826	713	647	600
学術研究・専門・技術サービス業	…	…	…	…	…	873	1,049	1,307	1,138
飲食店・宿泊業 (H21年度から宿泊業・飲食サービス業)	…	…	…	2,654	2,523	3,092	3,065	3,096	3,091
生活関連サービス業・娯楽業	…	…	…	…	…	2,275	2,163	2,001	1,591
教育・学習支援業	…	…	…	1,683	2,854	3,113	1,745	3,356	1,723
医療・福祉	…	…	…	2,941	4,165	4,650	4,354	5,805	5,782
複合サービス業	…	…	…	35	348	127	2,163	316	339
サービス業	11,673	10,336	13,003	3,995	4,333	1,995	1,832	1,542	1,497
公務(他に分類されないもの)	751	…	774	…	782	844	…	…	…

※「X」：該当数字はあるが公表を差し控えたもの 「…」：未調査

目標・指標

目標

【21401】新たな企業の進出や起業・創業しやすい環境が整備されている。

【21402】市内や近隣の求職者の雇用機会が拡大している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
新たな企業の立地支援策数 (※「新たな企業の立地支援策の策定」から変更) 21401	- (1 件)	- (1 件)	- (1 件)	- (1 件)	- (1 件)	3 件 (3 件)
起業・創業の累計件数 21401	5 件	13 件	22 件	31 件	36 件	66 件
地域職業相談室が紹介した方のうち、実際に就職した方の割合 21402	13.5%	14.5%	15.8%	16.6%	18.6%	20%

【主な変更点及び理由】

○新たな企業の立地支援策の策定 → 新たな企業の立地支援策数

累計数を目標値にしていることから、指標名を変更

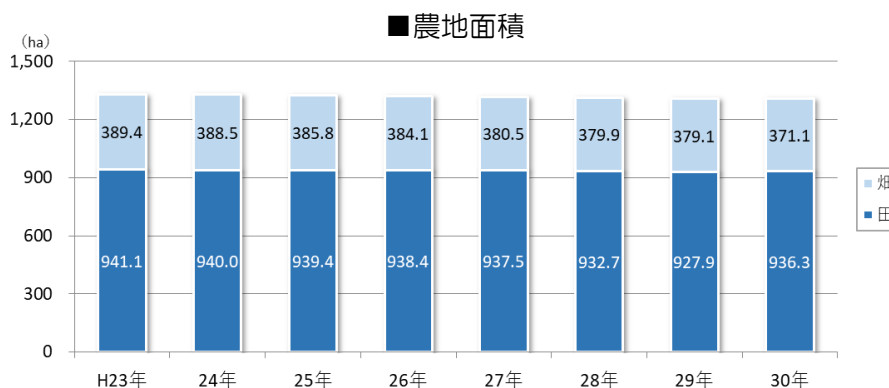
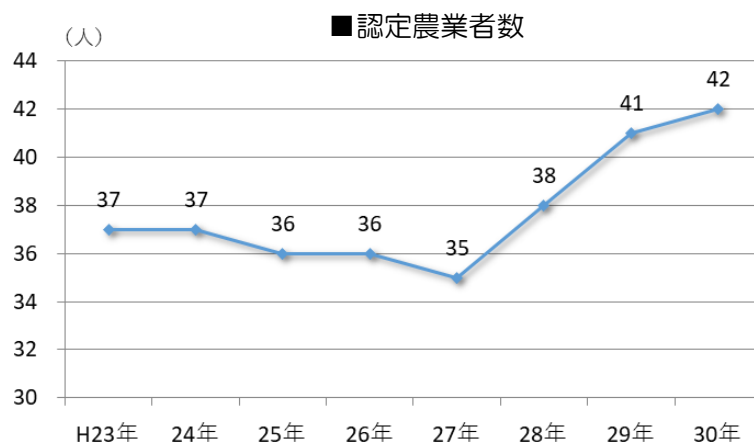
○起業・創業の累計件数、地域職業相談室が紹介した方のうち、実際に就職した方の割合

実績値が目標値に達したことによる上方修正

第二章 我孫子らしい農業の振興

第一節 農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全

現状



目標・指標

目標

- 【22101】生産者の農業生産基盤と農業経営基盤が維持・強化されている。
- 【22102】農業の付加価値が高まり、生産者が意欲を持って農業経営に取り組んでいる。
- 【22103】環境保全型農業が普及している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
農地利用集積面積 22101	156.2ha	172.2ha	206.1ha	235.5ha	255.4ha	<u>315ha</u>
認定農業者の人数 22102	36人	35人	38人	41人	42人	<u>48人</u>
新規就農者の人数 22102	22人	24人	24人	24人	26人	30人
「ちばエコ農産物」栽培 の認証を受けた生産者 22103	39人	44人	48人	44人	48人	55人

【主な変更点及び理由】

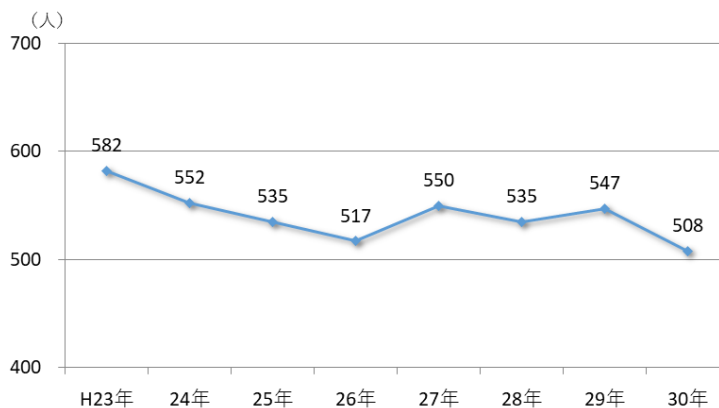
○農地利用集積面積、認定農業者の人数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第二節 地域と連携した農業の育成

現状

■農家開設型ふれあい体験農園の利用者数



目標・指標

目標

- 【22201】農産物の地産地消が進むとともに、市の交流人口が拡大している。
- 【22202】市民が農業にふれあうとともに、生産者との交流が進んでいる。
- 【22203】手賀沼沿いの根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地の保全・活用が図られている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
あびこ型「地産地消」 推進協議会会員数 22201	196 人	182 人	173 人	153 人	152 人	220 人
手賀沼親水広場・農業 拠点施設の年間延べ 利用者数 22201	—	—	—	434,112 人	467,551 人	480,000 人
学校給食への地元農 産物を供給した回数 (※「学校給食への地 元野菜供給量」から変 更) 22201	— (19,116 Kg)	— (17,557 Kg)	— (16,533 Kg)	— (15,980 Kg)	133 回 (15,262 Kg)	150 回 (19,000 kg 以上 を維持)
農家開設型ふれあい 体験農園の利用者数 22202	517 人	550 人	535 人	547 人	508 人	630 人
手賀沼沿い農地の保 全・活用面積 22203	31.4ha	31.4ha	31.5ha	29.5ha	29.9ha	40.4ha

【主な変更点及び理由】

○手賀沼親水広場・農業拠点施設の年間延べ利用者数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

○学校給食への地元野菜供給量 → 学校給食への地元農産物を供給した回数

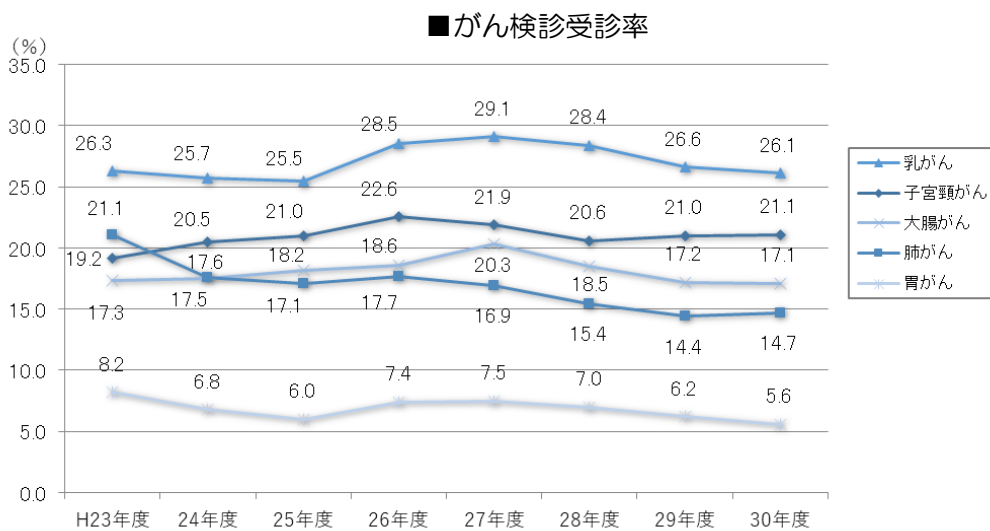
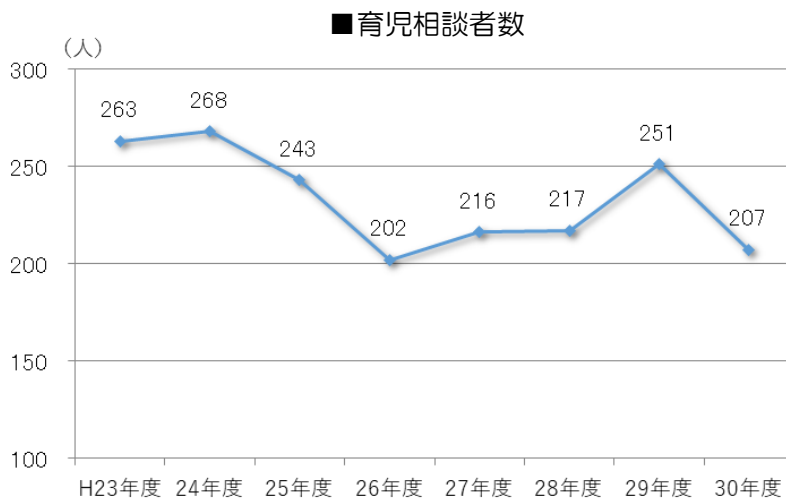
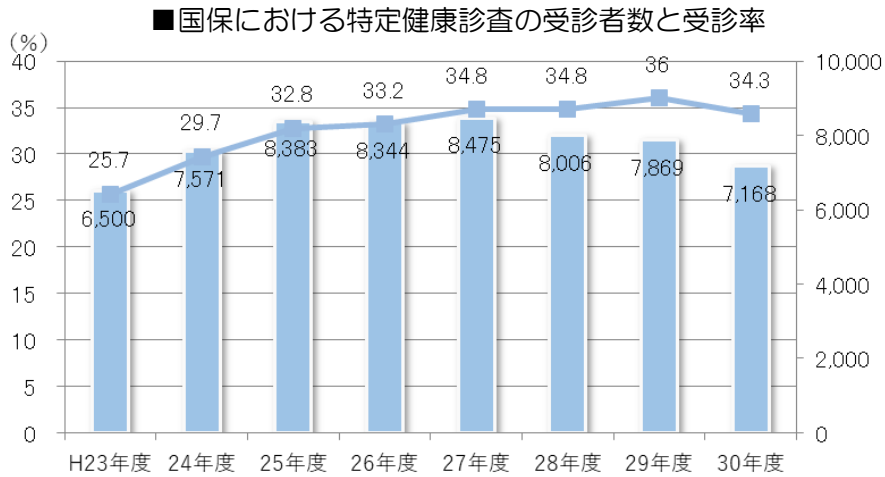
児童・生徒数が減少していることから、指標を変更

第三部 健康福祉

第一章 健康な生活を支える体制の整備

第一節 保健サービスの充実

現状



第三部 健康福祉

目標

- 【31101】 健（検）診体制が整備され、健（検）診の受診率が向上している。
- 【31102】 予防接種事業が充実し、感染症のまん延や症状の重篤化が防止されている。
- 【31103】 市民が自らの健康状態を知り、自主的な健康づくりに取り組んでいる。
- 【31104】 妊婦、産婦、乳幼児とその保護者の不安が軽減され、健康な生活を営んでいる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
特定健康診査の受診率 31101	33.2%	34.8%	34.8%	36%	34.3%	60%
特定保健指導の実施率 31101	14.6%	11.3%	10.1%	28.6%	38.2%	60%
がん検診の受診率（令和元年度より算出方法が変更） 31101	- (18.4%)	- (18.3%)	- (17.1%)	- (16%)	- (15.9%)	12.3% (31.9%)
予防接種対象者の接種率（乳幼児・小中高生） 31102	99.5%	93.2%	94.7%	96.5%	98.2%	98%以上を維持
麻しん風しん予防接種対象者の接種率 31102	95.7%	90.4%	95.7%	90.5%	100%	93%以上を維持
自らの健康に気をつけている人の割合 (訪問や検診、健康教育、健康相談におけるアンケート調査) 31103	91.9%	95.5%	96.3%	95.8%	92.7%	95%
母子保健事業が育児不安の軽減や解消に役立った割合 (母子保健事業におけるアンケート調査) 31104	99.3%	98.8%	98.7%	99.1%	98.1%	100%
母子保健健診の平均受診率 (妊婦健診・乳児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診) 31104	90.3%	89.4%	90.7%	90%	92.3%	92%

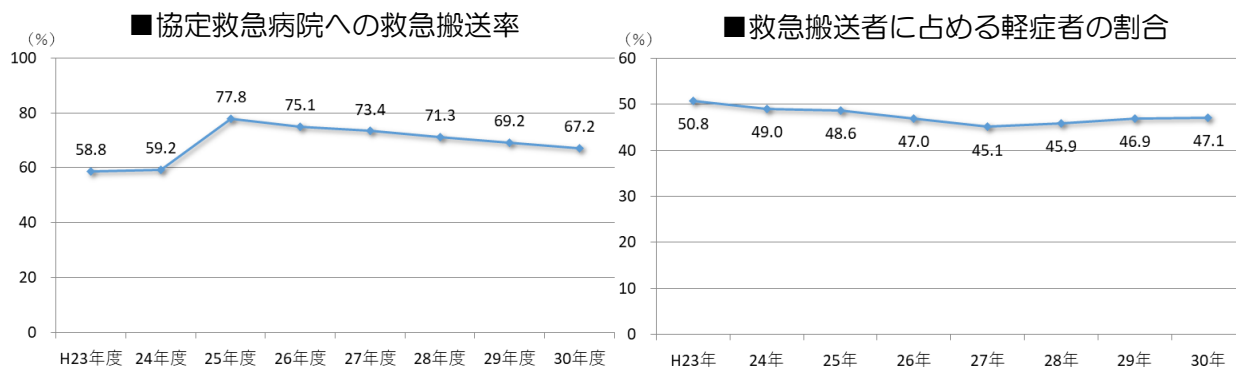
【主な変更点及び理由】

○がん検診の受診率

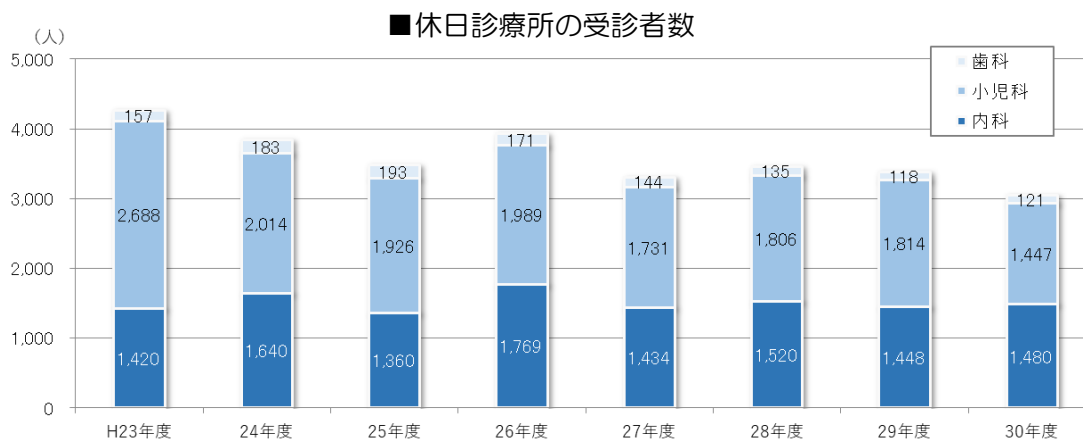
平成 3 1 年度から算出方法が変更したことによる指標の変更

第二節 医療体制の確立

現状



※「協定救急病院への救急搬送率」と「救急搬送者に占める軽症者の割合」については、年度の集計ではなく年（1～12月）で集計した数値です。



目標・指標

目標

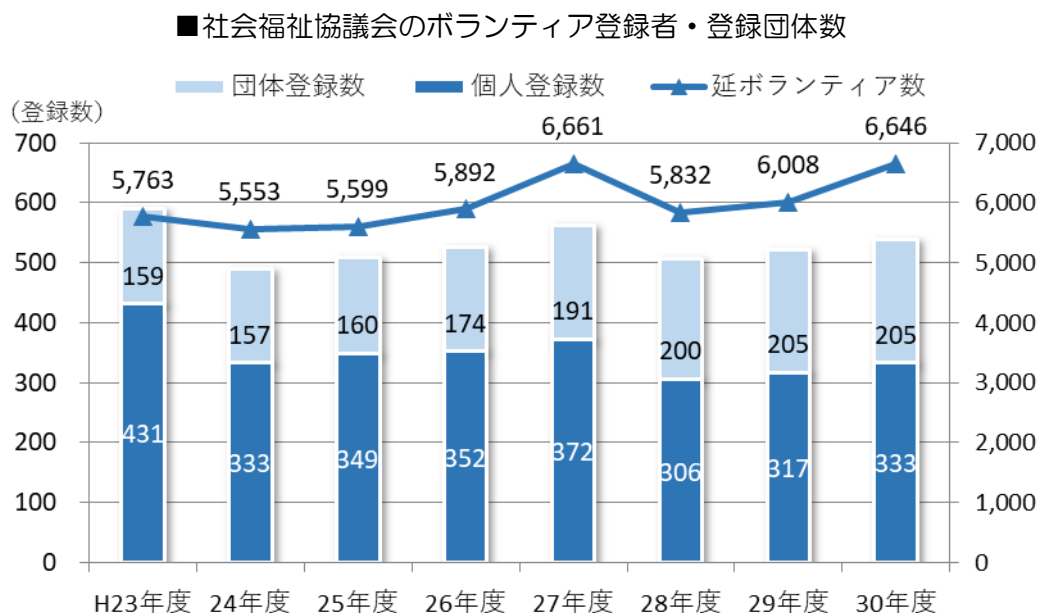
【31201】市民が、初期的な医療から高度な医療まで、症状に応じていつでも受診できる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
協定救急病院への救急搬送率 31201	75.1%	73.4%	71.3%	69.2%	67.2%	78%
「医療体制の整備・充実」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 31201	—	54.1%	—	—	51.2%	60%

第二章 地域で支え合う福祉の充実

第一節 地域で支え合う福祉の充実

現状



目標・指標

目標

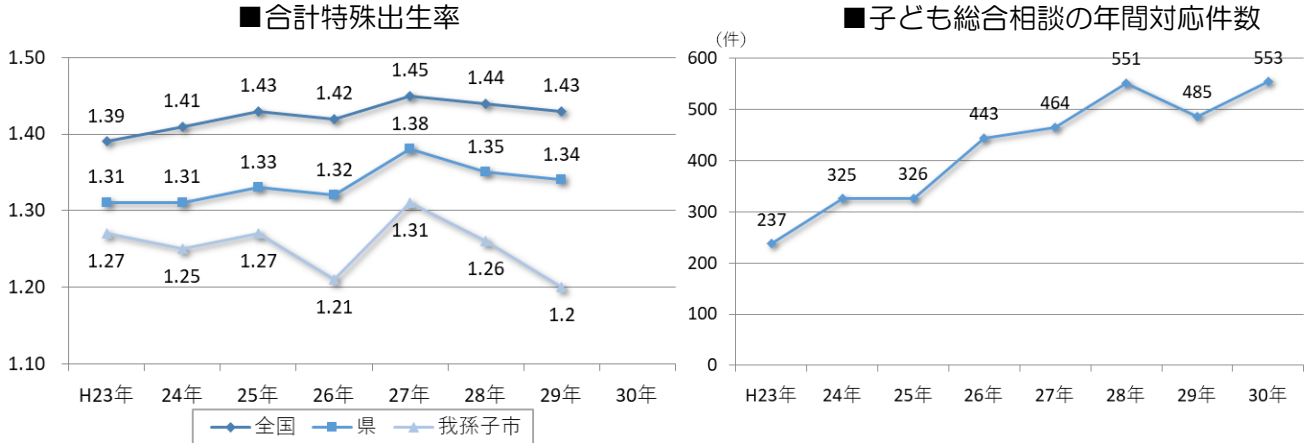
【32001】地域福祉活動が活性化し、市民がお互いに支え合って生活している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「地域で支え合う福祉の充実」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 32001	—	38.5%	—	—	28.5%	45%
社会福祉協議会のボランティア登録者数 32001	5,892 人	6,661 人	5,832 人	6,008 人	6,646 人	6,200 人

第三章 必要なときに必要に応じて受けられる福祉サービス体系の確立

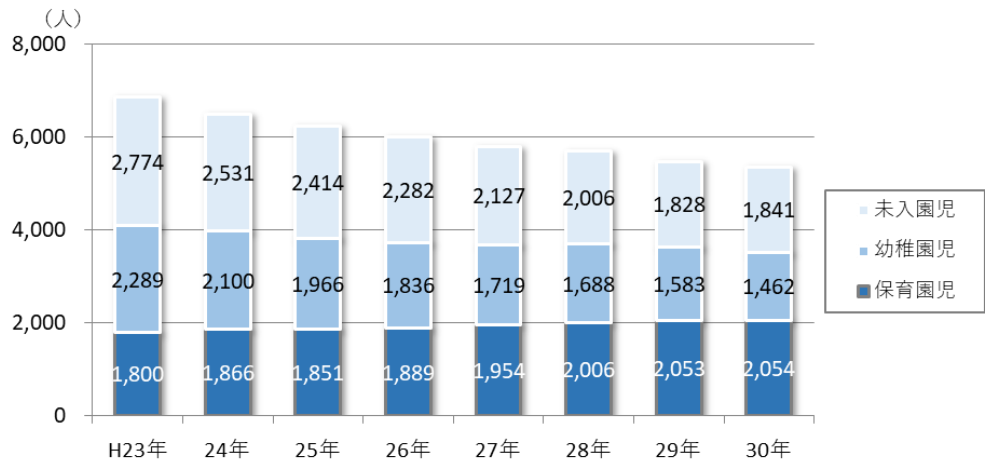
第一節 子育て支援

現状

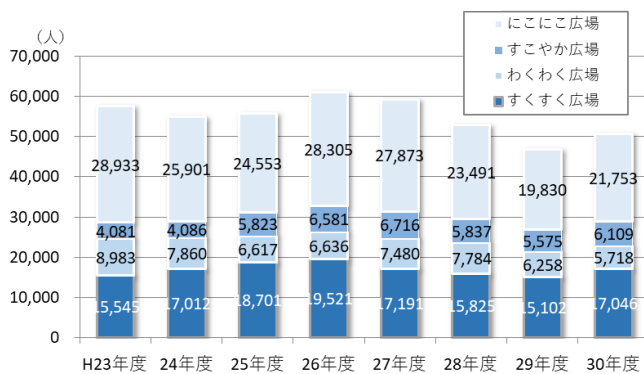


※平成30年度の数値は令和2年1月に確定する予定

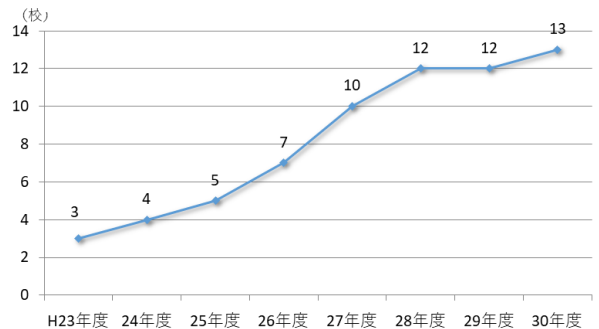
■ 就学前児童の内訳



■ 子育て支援施設の利用者数



■ 子どもの居場所(あびっ子クラブ)の設置校数



目標・指標

目標

- 【33101】 子どもや子育てをする保護者が抱える悩みや問題に対して適切な対応がなされている。
- 【33102】 子育て支援にかかわる個人・団体の連携や自主的な活動が進み、地域子育て力が強化されている。
- 【33103】 保育サービスが充実し、市民が安心して子育てできる。
- 【33104】 子どもたちが、自主性、社会性、創造性などのさまざまな能力を伸ばし、地域の中で健やかに成長している。
- 【33105】 市民の子育てに関する経済的負担が軽減している。
- 【33106】 発達支援が必要な子どもとその家族が、ライフステージを通じて一貫した支援を受けることができる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
子ども総合相談のうち 終結した案件の割合 33101	71%	77.8%	75%	65.4%	68.1%	73%
子ども虐待等防止対策地 域協議会の対応により 解決または終結した割合 33101	76%	75.3%	73.8%	62.4%	62.1%	62%
子育て支援施設におけ るサービスの利用者数 33102	72,544 人	75,824 人	71,652 人	60,994 人	62,059 人	57,000 人
保育園への入園を希望 する児童の入園率 33103	100%	100%	100%	100%	100%	100%
「子育て支援」施策に対 する市民満足度 (市民アンケートで「満 足」・「やや満足」と回答 した人の割合) 33103	—	52.4%	—	—	50.7%	65%
学童保育室の年間利用者 数 33103	795 人	801 人	813 人	860 人	872 人	910 人
学童保育室とあびっ子ク ラブとの一体的な運営を 実施している小学校の数 33104	—	10 校	12 校	12 校	13 校	平成 30 年度完了
子どもを対象としたさま ざまな体験事業の数 33104	9 件	5 件	5 件	5 件	4 件	5 件
さまざまな体験事業に参 加した子どもの数 33104	4,620 人	2,946 人	3,040 人	2,337 人	1,543 人	1,700 人
手当や助成金を適正に支 給した割合 (適正に支給した件数/ 支給総件数) 33105	100%	100%	100%	100%	100%	100%
こども発達センターが行 う発達に支援が必要な 子どもに対する支援件数 (実人数) 33106	786 人	773 人	860 人	815 人	740 人	840 人

【主な変更点及び理由】

○子育て支援施設におけるサービスの利用者数

就学前児童数の減少と広場の開室日の縮小に伴う目標値の下方修正

○学童保育室の年間利用者数

働く保護者等が増加していることにより、利用者が増加傾向にあることから、目標値を上方修正

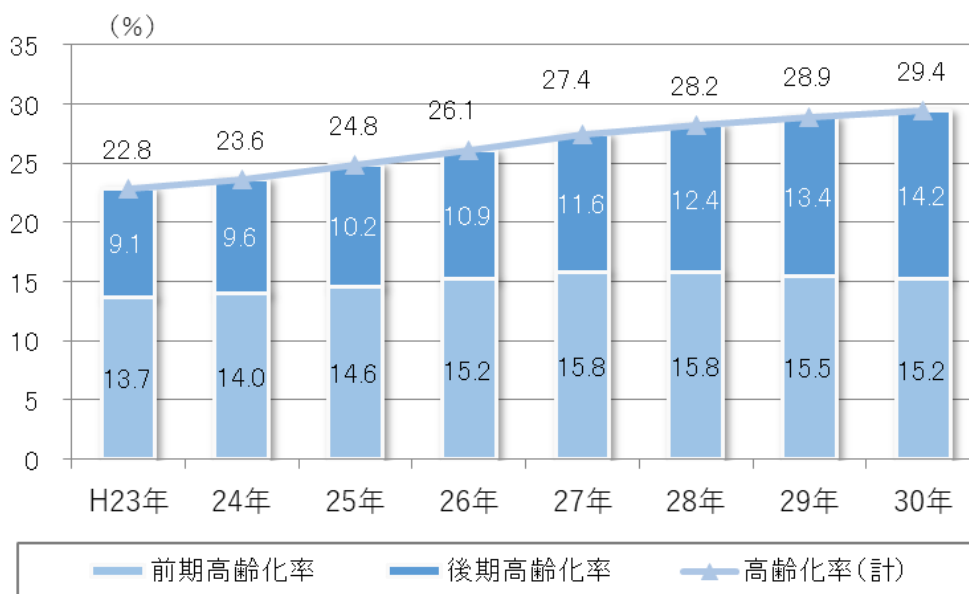
○学童保育室とあびっ子クラブとの一体的な運営を実施している小学校の数

単年度に複数校あびっ子クラブを設置したことにより、平成30年度に完了

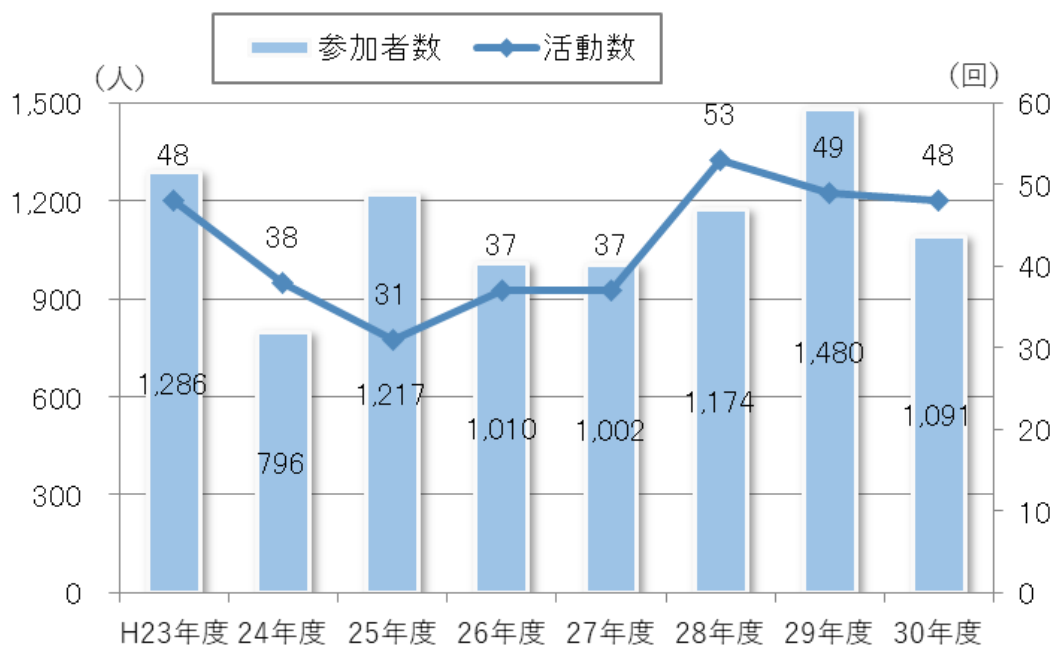
第二節 高齢者支援

現状

■我孫子市の高齢化率



■介護予防活動の数と参加者数



目標・指標

目標

- 【33201】 高齢者が介護サービスを身近な場所で利用できるとともに、地域住民がお互いに介護を支え合っている。
- 【33202】 高齢者が介護予防の重要性を認識し、予防のための取り組みを行っている。
- 【33203】 高齢者の社会参加・社会貢献の機会と場が十分に確保されている。
- 【33204】 高齢者の保険・医療・福祉が向上するとともに、高齢者に対する虐待の防止や権利擁護が図られている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
高齢者在宅生活支援事業等利用者数 (介護保険外在宅サービス、寝具乾燥・消毒サービス、徘徊探知システム、日常生活用具給付、緊急通報システム、軽度生活援助、配食サービス、高齢者移送サービス) 33201	1,090人	1,076人	1,057人	1,180人	1,009人	1,260人
国が示す特別養護老人ホームの必要定員数推計に対する市内特別養護老人ホームの定員整備率 33201	71.3%	83%	82.8%	92.9%	91.8%	100%
前期高齢者(65歳～74歳)の要介護・要支援認定率 33202	3.4%	3.3%	3.4%	3.6%	3.4%	3.4%
介護保険ボランティアポイント制度の登録者数 33203	455人	483人	504人	591人	583人	880人
シルバー人材センターの会員数 33203	655人	682人	691人	679人	681人	730人
きらめきデイサービスの利用者数 33203	818人	1,452人	1,761人	1,838人	1,561人	1,950人
高齢者なんでも相談室への相談件数 33204	19,932件	20,413件	18,303件	18,953件	20,189件	24,500件

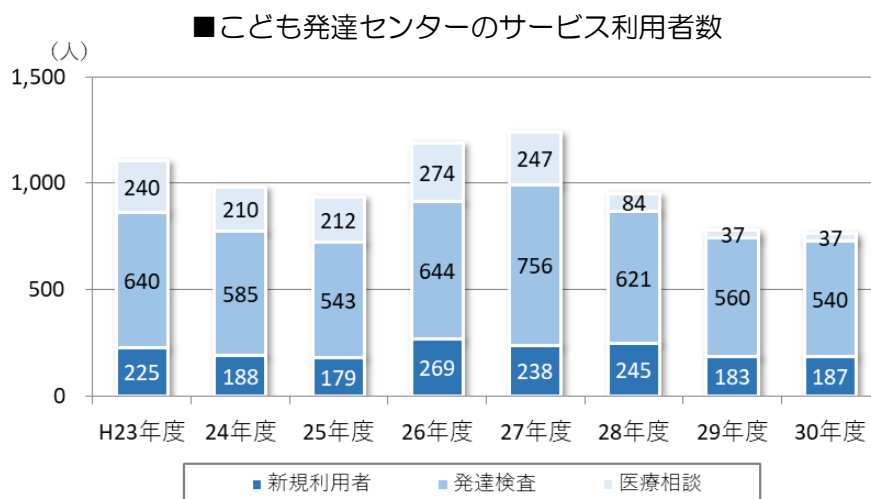
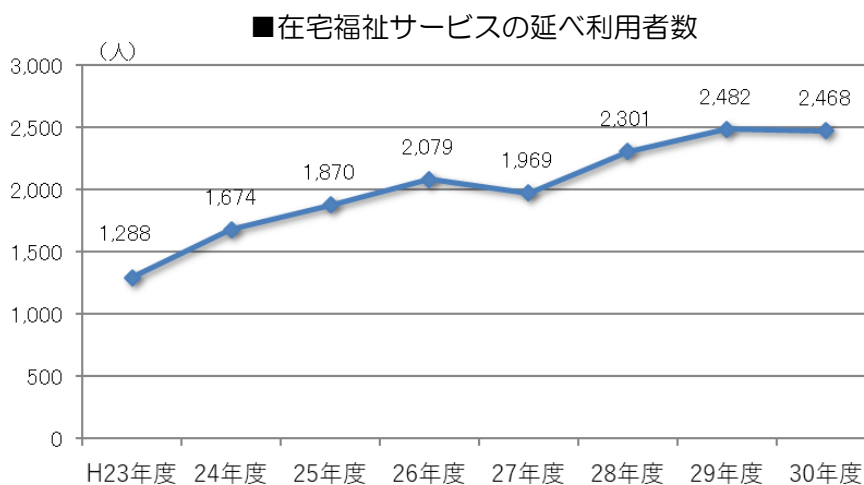
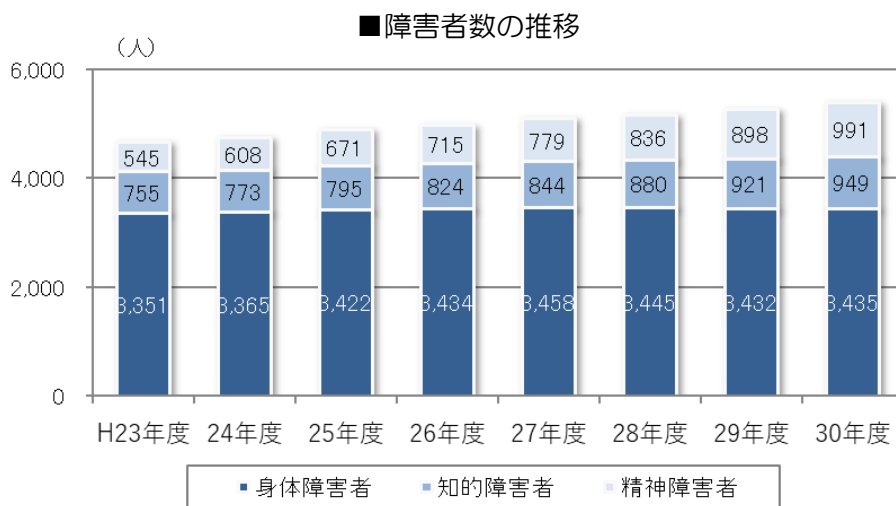
【主な変更点及び理由】

○きらめきデイサービスの利用者数

実施事業者が増加したことに伴い、利用者が増加したことから、目標値を上方修正

第三節 障害者支援

現状



目標・指標

目標

- 【33301】 障害についての相談支援体制が充実し、障害者とその家族が適切な支援を受けることができる。
- 【33302】 障害者が、住みなれた地域で自立した生活を営むことができる。
- 【33303】 市内の障害者施設利用者が、一人ひとりのニーズにあったサービスを受けることができる。
- 【33304】 障害に対する理解が深まり、障害者が地域の活動に住民と共に参加している。
- 【33305】 障害者が、それぞれの能力や特性に応じて就労するとともに、安定して働き続けることができる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
障害福祉サービス相談支援事業のうち来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数 33301	19,957件	23,003件	25,000件	24,291件	26,161件	27,000件
在宅福祉サービスの延べ利用者数 33302	2,079人	1,969人	2,301人	2,482人	2,468人	2,670人
日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数 33302	7,385人	7,178人	8,391人	8,349人	9,506人	9,800人
市が支援技術を提供した障害者施設の数 33303	13施設	35施設	39施設	12施設	22施設	48施設
障害者福祉センター利用者のうち、社会活動などに参加した人数 33303	63人	52人	58人	58人	56人	65人
市が開催・参加する障害関連の啓発・イベント数 33304	25件	25件	28件	26件	26件	32件
就職後6か月経過時の職場定着率(定着者/就職者) 33305	90%	100%	100%	95%	88%	90%
福祉的就労から一般就労への移行者数 33305	11人	5人	11人	3人	6人	20人

【主な変更点及び理由】

- 障害福祉サービス相談支援事業のうち来所相談・電話相談・家庭訪問等の件数、日中活動の場・住まいの場の延べ利用者数
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正
- 市が支援技術を提供した障害者施設の数
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正
- 市が開催・参加する障害関連の啓発・イベント数
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第四章 互助と自助による生活の保障

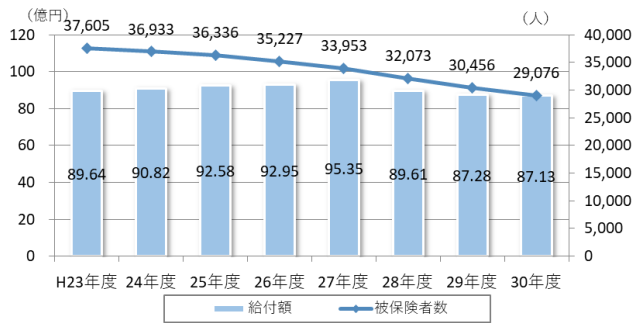
第一節 互助と自助による生活の保障

現状

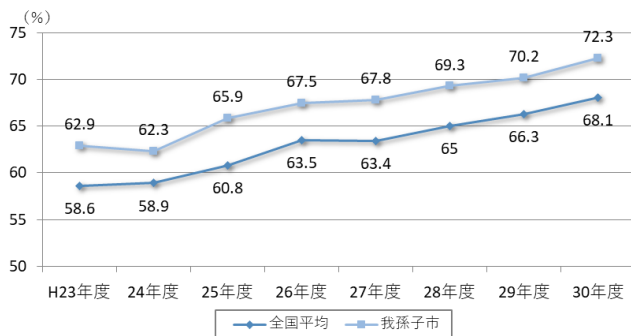
■介護保険サービスの利用者数と給付額



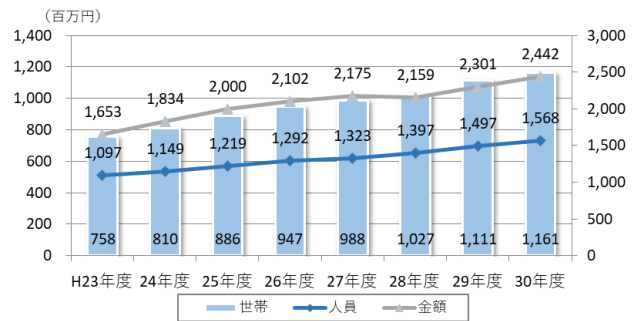
■国民健康保険の被保険者数と給付額



■国民年金の納付率



■生活保護の状況



目標・指標

目標

- 【34001】介護保険料の納付意識が向上するとともに、質の高い介護サービスが提供されている。
- 【34002】国民健康保険税・後期高齢者医療保険料の納付意識と疾病の予防意識が向上している。
- 【34003】国民年金制度の理解が深まり、国民年金加入者が増加するとともに、国民年金保険料の納付意識が向上している。
- 【34004】経済的な手助けを必要とする市民が、それぞれの実情にあった支援・指導を受けることができる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「高齢者支援」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 34001	—	45.2%	—	—	37.1%	50%
介護保険料収納率 34001	98.9%	98.9%	98.9%	99%	99%	99%
国民健康保険税現年度収納率 34002	90.4%	91.3%	93.3%	94%	93.9%	<u>94.2%</u>
後期高齢者医療保険料現年度収納率 34002	99.4%	99.4%	99.5%	99.6%	99.5%	<u>99.7%</u>
国民年金保険料現年度納付率 34003	67.5%	67.8%	69.3%	70.2%	72.3%	<u>72.5%</u>
生活相談の解決割合 (年間相談件数のうち、助言、斡旋解決の占める割合) 34004	68%	90%	75%	76%	80%	82%
就労等による生活保護の廃止世帯数 34004	30 世帯	27 世帯	25 世帯	28 世帯	32 世帯	50 世帯

【主な変更点及び理由】

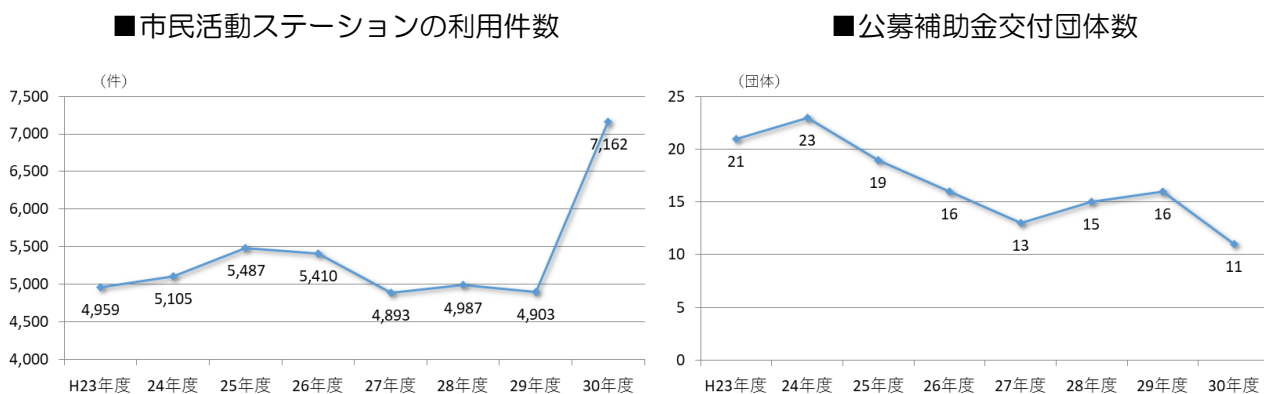
- 国民健康保険税現年度収納率、後期高齢者医療保険料現年度収納率、国民年金保険料現年度納付率
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第四部 市民活動

第一章 市民の自主的なまちづくり活動への支援

第一節 市民交流支援

現状



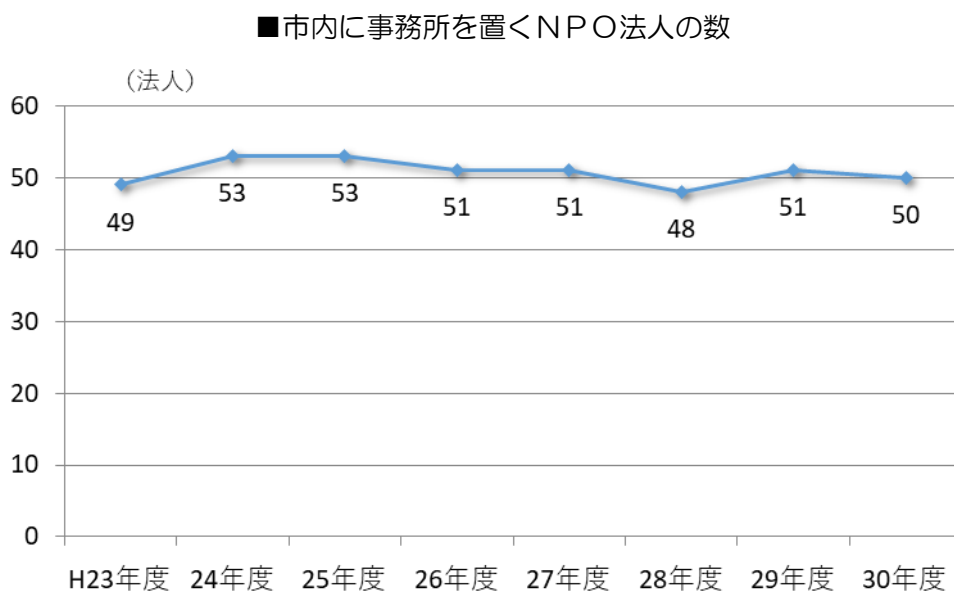
目標・指標

目標 【41101】市民が交流するための場や機会や情報が提供され、交流が活発に行われている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
市民交流を目的としたイベントの来場者数 41101	2,900 人	3,500 人	4,000 人	2,507 人	2,139 人	3,500 人
市民活動ステーションの利用件数 41101	5,410 件	4,893 件	4,987 件	4,903 件	7,162 件	7,000 件
市民活動団体に発信した情報の件数 41101	50 件	—	78 件	70 件	86 件	75 件

第二節 市民公益活動支援

現状



目標・指標

目標

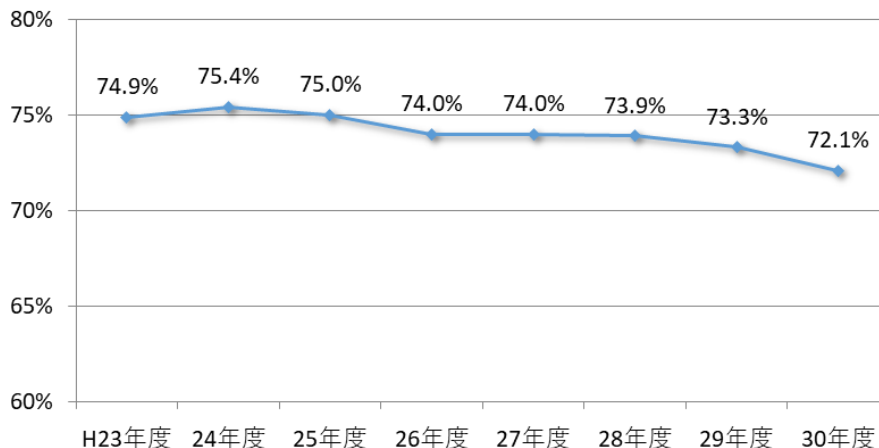
【41201】NPO活動やボランティア活動が、自立して活発に展開されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
市内に事務所を置く NPO法人の数 41201	51 法人	51 法人	48 法人	51 法人	50 法人	60 法人

第三節 コミュニティ活動支援

現状

■自治会・町内会への加入率



目標・指標

目標

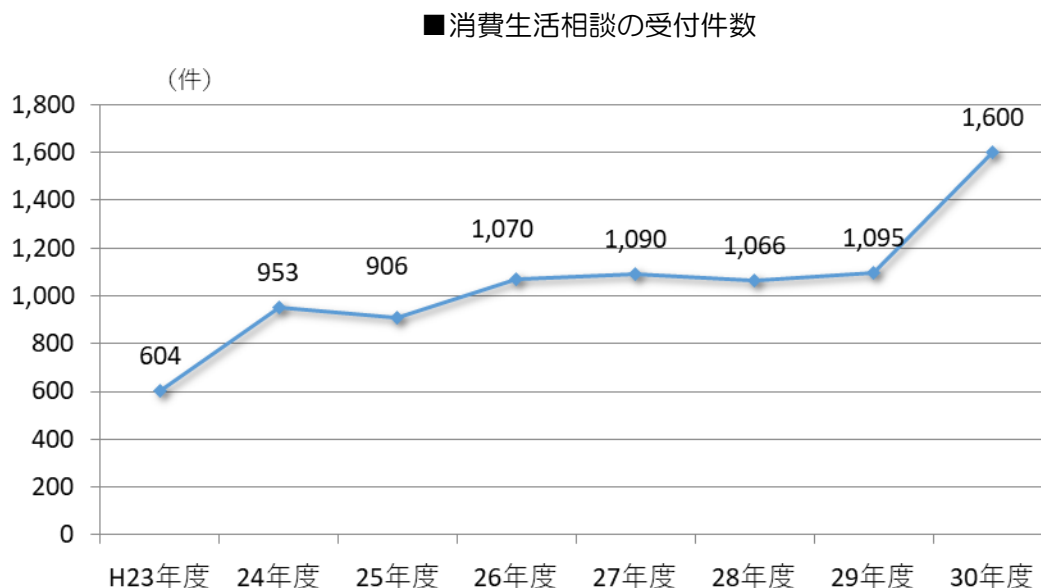
【41301】自治会やまちづくり協議会のコミュニティ活動が活発に行われている。

【41302】コミュニティ施設の適切な維持管理が行われている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「地域活動の活性化」 施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 41301	—	38.8%	—	—	30.3%	45%
自治会・町内会への加入率 (加入世帯／市内の全世帯) 41301	75%	74%	73.9%	73.3%	72.1%	80%
コミュニティ施設の改善要望に対する改善率 (改善件数／すべての改善要望のうち緊急性や安全性の視点から改善が必要な要望件数) 41302	100%	100%	100%	100%	100%	100%
近隣センターの稼働率 41302	48.6%	48.4%	48.8%	49.2%	49.8%	53%

第四節 消費者の安全・安心の確保

現状



目標・指標

目標

- 【41401】消費者自らが、未然にトラブルを防ぐ知恵を身につけている。
- 【41402】市民が、消費に関するトラブルを解決できている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「消費者活動と市の連携」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」「やや満足」と回答した人の割合) 41401	—	29.1%	—	—	25.5%	35%
消費者問題に関する講座への参加者数 41401	661 人	685 人	636 人	811 人	738 人	850 人
消費生活相談の受付件数 41402	1,070 件	1,090 件	1,066 件	1,095 件	1,600 件	1,700 件

【主な変更点及び理由】

○消費者問題に関する講座への参加者数、消費生活相談の受付件数

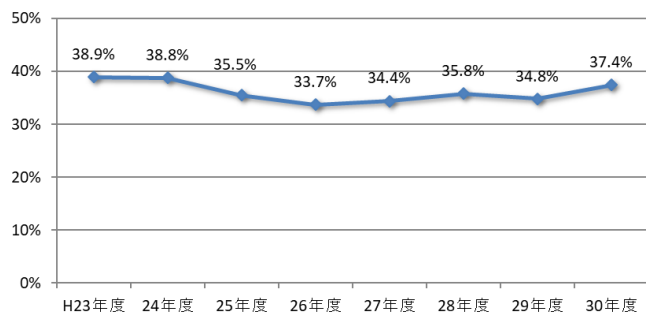
消費者トラブルの増加に伴い、講座への参加者と相談件数が増加傾向にあることによる上方修正

第二章 男女が共に参画する社会の形成

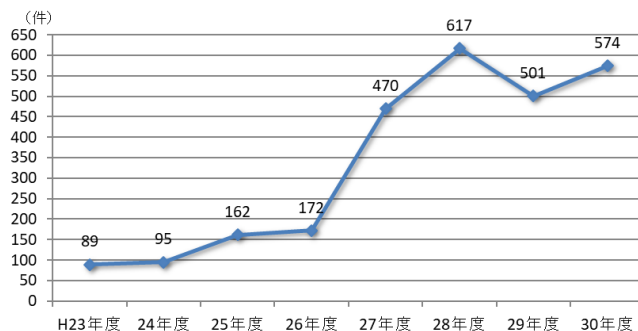
第一節 男女が共に参画する社会の形成

現状

■市の各種審議会などにおける女性委員の割合



■DVやセクハラ相談の受付件数



目標・指標

目標

【42001】男女が平等に参画できる環境づくりが進んでいる。

【42002】男女の人権が尊重される社会づくりが進んでいる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「男女共同参画社会の形成」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 42001	—	28.7%	—	—	20.5%	35%
市の各種審議会などにおける女性委員の割合 42001	33.7%	34.4%	35.8%	34.8%	37.4%	40%
市男性職員が育児休業を取得した件数 42001	0件	0件	1件	0件	0件	5件
DVやセクハラへの取り組み事業の件数 42002	7件	3件	3件	3件	3件	8件
DV相談の受付件数 (※「DVやセクハラ相談の受付件数」から変更) 42002	172件	470件	617件	501件	574件	180件

第三章 国際性をはぐくむ市民活動の活性化

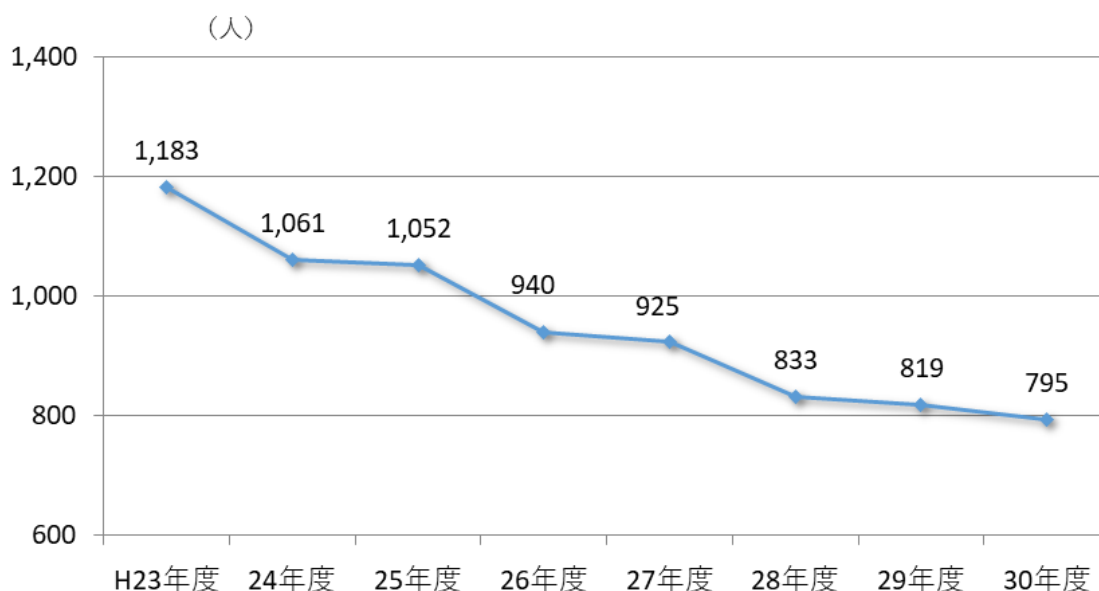
第一節 国際化への対応

現状

■ 国別外国人登録者数

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
中国	496	500	459	475	472	478	548	572
朝鮮・韓国	230	226	217	219	204	201	210	210
フィリピン	—	—	162	175	166	203	252	349
ベトナム	—	—	48	102	130	185	197	204
ネパール	—	—	—	—	41	57	64	81
タイ	—	—	43	39	-	-	-	-
アメリカ	30	30	—	—	—	-	-	-
その他の国	533	533	341	347	352	390	479	515
総数	1,289	1,289	1,270	1,357	1,365	1,514	1,750	1,931

■ ALT 1人あたりの児童生徒数



目標・指標

目標

【43101】外国の文化や習慣などを理解するための情報が提供されている。

【43102】市民、子ども、市職員の国際化対応能力が向上している。

【43103】新たな国際化推進基本方針が策定されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「国際性をはぐくみ、外国人もくらしやすいまちづくり」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 43101	—	28.5%	—	—	19.5%	35%
市ウェブサイトの国際化情報への年間アクセス数 43101	2,000 件	1,948 件	1,424 件	1,212 件	1,024 件	2,500 件
国際交流まつりの来場者数 43101	335 人	496 人	1,055 人	770 人	700 人	<u>700 人</u>
小中学校の外国語活動・英語学習に対する満足度 43102	87.5%	83.5%	87%	88%	86.5%	95%
国際理解講座等への参加者数 43102	91 人	—	2,592 人	151 人	—	150 人
新たな国際化推進基本方針の策定の進捗率 43103	—	—	100% (完了)	完了	完了	

【主な変更点及び理由】

○国際交流まつりの来場者数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

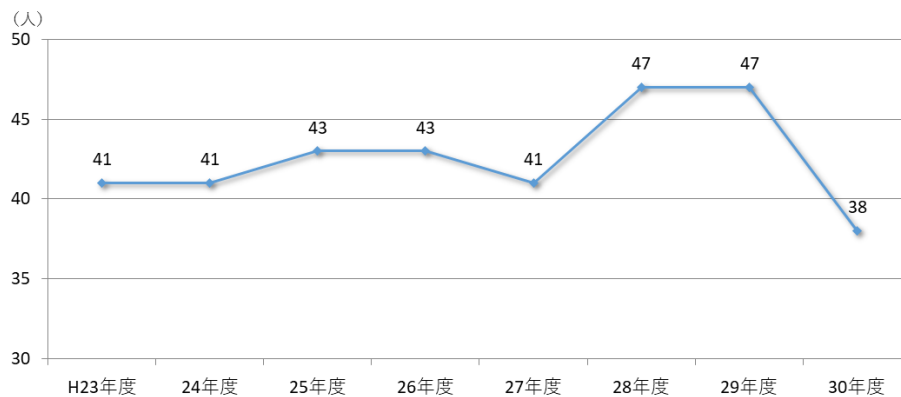
○新たな国際化推進基本方針の策定の進捗率

平成 28 年度に方針を策定したことから完了

第二節 外国人もくらしやすいまちの実現

現状

■「外国人のための日本語教室」を支える市民の数



目標・指標

目標

【43201】外国人市民や帰国児童生徒が、安心して日常生活を送ることができる。

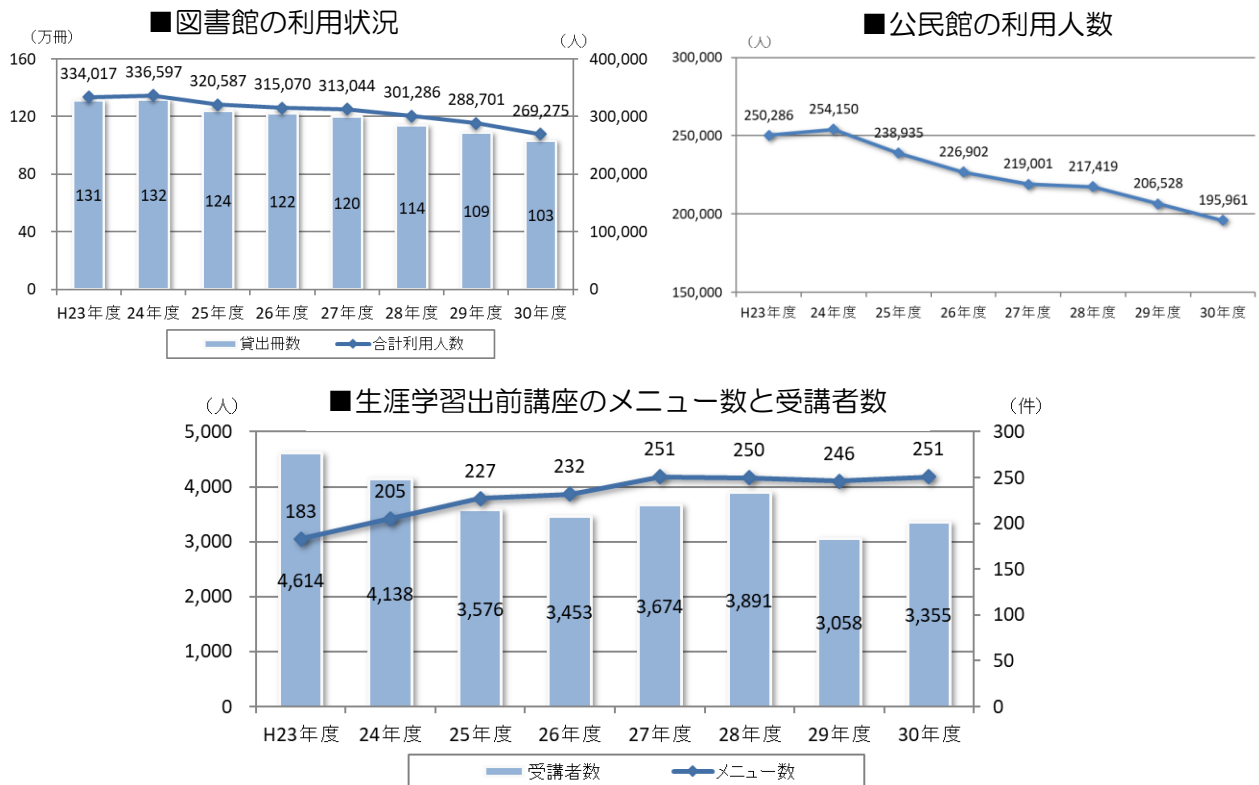
指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「外国人のための日本語教室」を支える市民の数 (ボランティア教師と託児ボランティアの合計) 43201	43 人	41 人	41 人	47 人	38 人	66 人

第五部 生涯学習

第一章 市民が生涯にわたっていきいきくらすための学習体制の充実

第一節 生涯学習機会の充実

現状



目標・指標

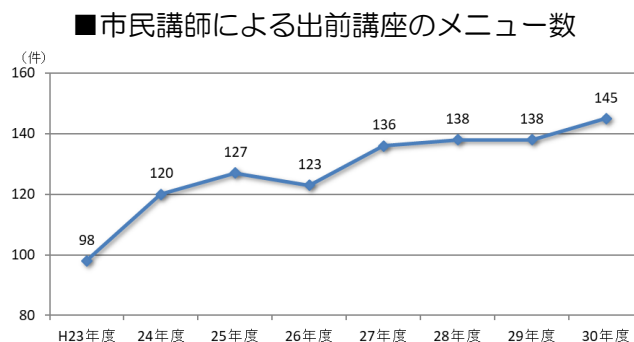
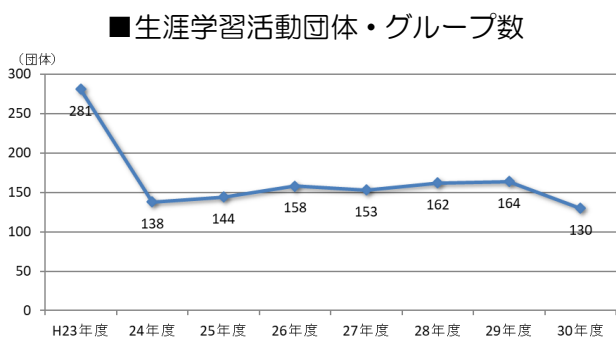
目標

- 【51101】市民が身近な場所で学習できる。
- 【51102】学習サービスが充実し、市民が学びたいときに学ぶことができる。
- 【51103】地域のまちづくりを担う人材が多数育成されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
生涯学習出前講座の受講者数 51101	3,453人	3,674人	3,891人	3,058人	3,358人	4,000人
生涯学習課・図書館・鳥の博物館の共催・後援件数 51102	53件	53件	52件	52件	55件	57件
市民一人あたりの図書等の貸出冊数 51102	9.2冊	9.1冊	8.6冊	8.2冊	7.8冊	9.5冊
アビスタ(公民館・図書館)の年間利用者数(図書館は入館者数) 51103	609,221人	598,681人	583,025人	555,443人	586,505人	680,000人

第二節 生涯学習体制の整備

現状



目標・指標

目標

【51201】市民の学習活動を支援する体制が整備されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「生涯学習の機会充実や推進体制の整備」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 51201	—	53.4%	—	—	43.8%	60%
大学図書館との図書の相互利用件数 51201	19 件	23 件	22 件	29 件	21 件	30 件
市民講師による生涯学習出前講座のメニュー数 51201	123 件	136 件	138 件	138 件	145 件	<u>150 件</u>

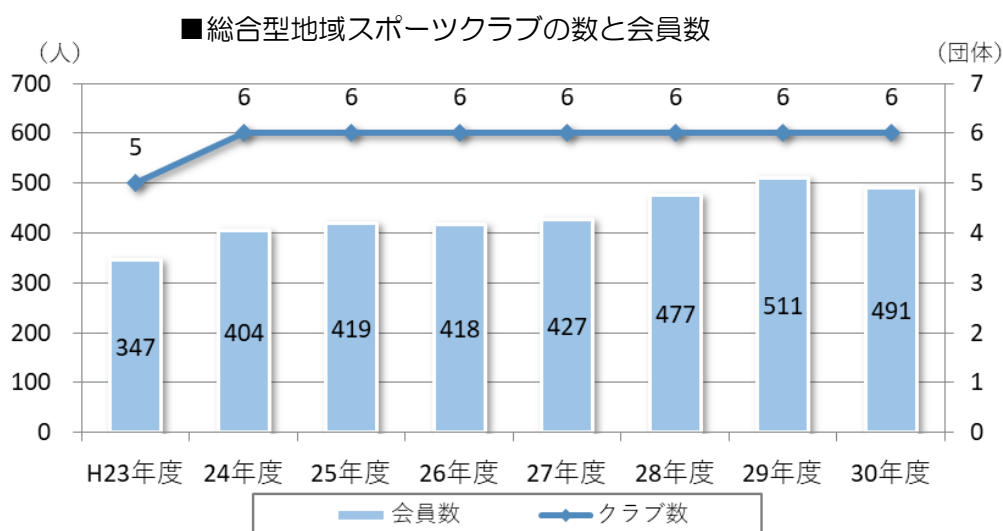
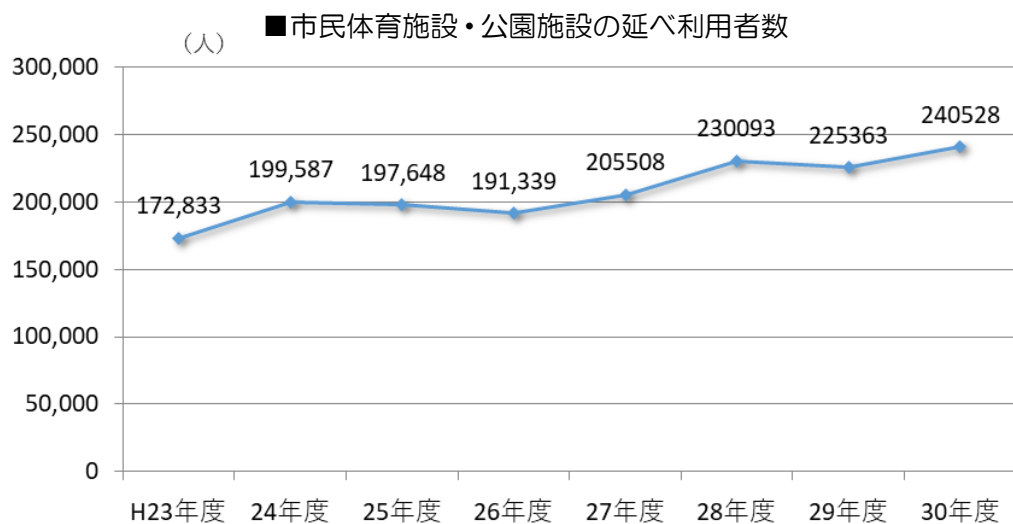
【主な変更点及び理由】

○市民講師による生涯学習出前講座のメニュー数

実績が目標値を上回ったことによる上方修正

第三節 スポーツの振興

現状



■スポーツ大会の参加者数 (人)

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民体カづくり大会 (各種目の延べ参加者数)	2,298	2,184	1,748	689	2,358	2,835	2,125	1,741
手賀沼エコマラソン	7,958	8,017	7,768	7,822	7,997	8,892	6,012	9,080
新春マラソン大会	2,232	2,101	1,937	1,926	2,177	1,913	1,721	1,684
市民体育大会	4,578	4,685	3,562	5,202	5,446	5,217	4,102	4,598
スポーツ教室	2,578	2,762	1,528	1,697	5,689	4,968	4,243	4,692
合計	19,644	19,749	16,543	17,336	23,667	23,825	18,203	21,795

目標・指標

目標

【51301】市民が、安全で快適なスポーツ活動を行うことができる。

【51302】市民が、生涯を通してスポーツに親しむことができる。

【51303】市民が、気軽にスポーツを楽しむことができる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
市民体育施設・公園施設の延べ利用者数 51301	191,339 人	205,508 人	230,093 人	225,363 人	240,528 人	250,000 人
総合型地域スポーツクラブの会員数 51302	418 人	427 人	477 人	511 人	491 人	1,000 人
スポーツ大会の参加者数 (市民体育大会・市民体カづくり大会・新春マラソン大会・手賀沼エコマラソン・スポーツ教室) 51303	17,336 人	23,667 人	23,820 人	18,203 人	21,660 人	20,000 人

【主な変更点及び理由】

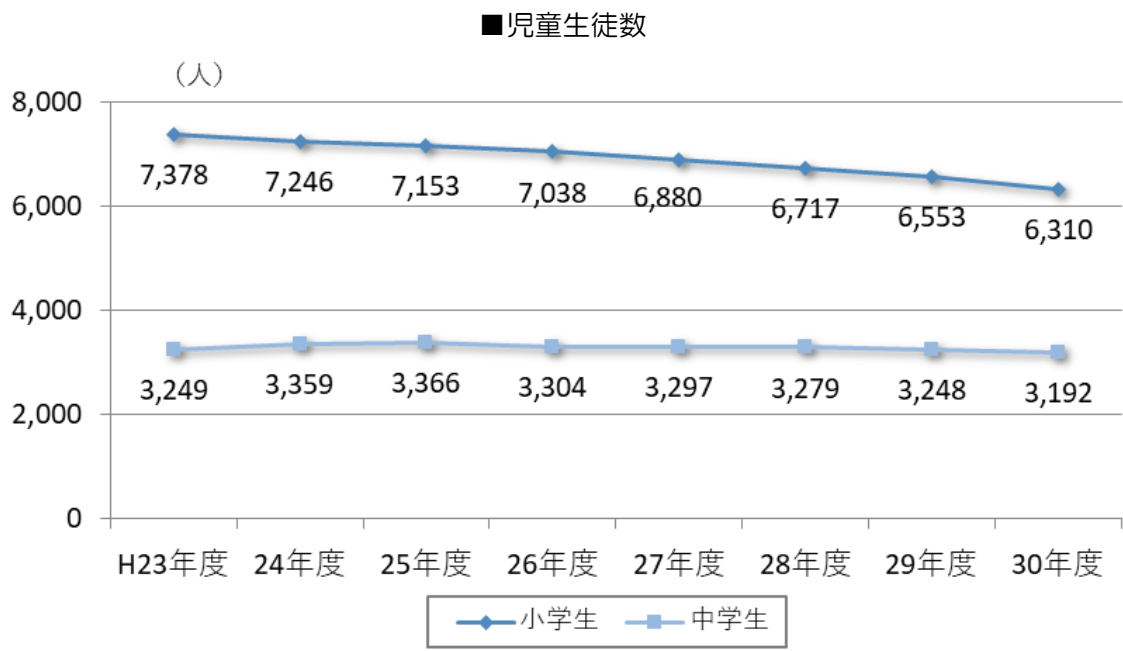
○市民体育施設・公園施設の延べ利用者数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第二章 子どもの創造性と自主性をはぐくむ教育の充実

第一節 学校教育・幼児教育の充実

現状



目標・指標

目標

- 【52101】 児童・生徒が、心身ともに健やかな成長を遂げている。
- 【52102】 児童・生徒が、基礎的・基本的な知識や思考力、判断力、表現力を身につけ、主体的に学習に取り組んでいる。
- 【52103】 児童・生徒が、確かな学力を身につけるとともに、豊かな人間性・社会性を育てている。
- 【52104】 教育・学習環境が充実し、児童・生徒が安心して快適に学ぶことができる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的におくっている児童・生徒の割合 (Q-U 検査において学級生活満足群に属する児童・生徒) 52101	59.1%	61%	62.3%	61.8%	62.2%	65%
食に関する関心や理解度が高まった子どもの割合 52101	81.3%	86.3%	87.5%	87.6%	88.9%	90%
授業についてのアンケート調査による満足度 52102	85%	87%	86.4%	85.4%	84.2%	90%
全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 (国語、算数・数学) 52102	文部科学省の「全国学力・学習状況調査に関する実施要領」に基づき、数値についての一覧での公表はしていません					全国平均 +1ポイント 以上
中学校区での小中交流行事の延べ実施回数 52103	24 回	30 回	35 回	42 回	67 回	35 回
小中一貫共通カリキュラムの実施率 52103	—	—	40%	58%	75%	100%
小中学校施設の大規模改造実施棟数 52104	37 棟	38 棟 (完了)	完了	完了	完了	
学校に配置したタブレット端末の台数 52104	188 台	201 台	281 台	321 台	287 台	280 台

【主な変更点及び理由】

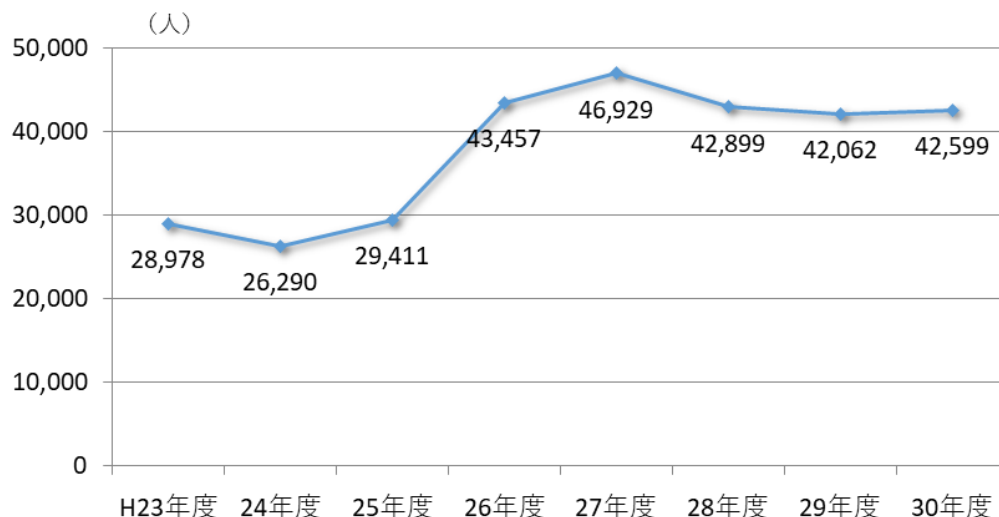
○学校に配置したタブレット端末の台数

小中一貫教育の実施に伴うタブレット型端末の計画的な配置を推進していることによる目標値の下方修正

第二節 地域に根ざした教育の充実

現状

■学校への支援ボランティアに参加した延べ人数



目標・指標

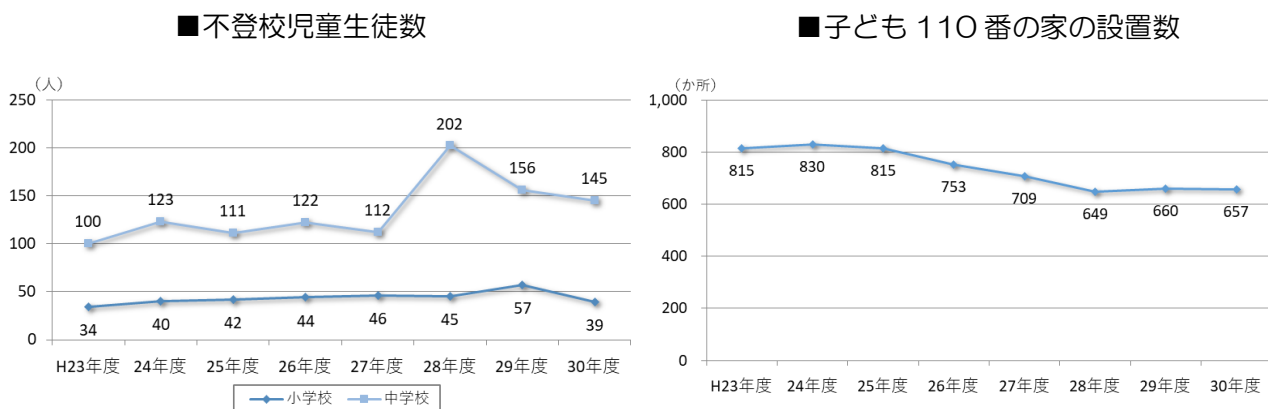
目標

- 【52201】 学校関係者と地域の人々の交流が活発になり、地域全体で学校教育を支えている。
- 【52202】 児童・生徒が、郷土に関する知識を身につけている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
学校への支援ボランティアに参加した延べ人数 52201	43,457人	46,929人	42,899人	42,062人	42,599人	45,000人
職場体験学習に協力した事業所などの延べ数 52201	443か所	460か所	398か所	451か所	475か所	470か所
地域について学ぶ授業の実施率 52202	87.1%	81%	87%	97.7%	100%	100%
大学生の学習支援ボランティアの延べ参加人数 52202	387人	283人	256人	730人	438人	500人

第三節 子どもの成長・自立への支援

現状



目標・指標

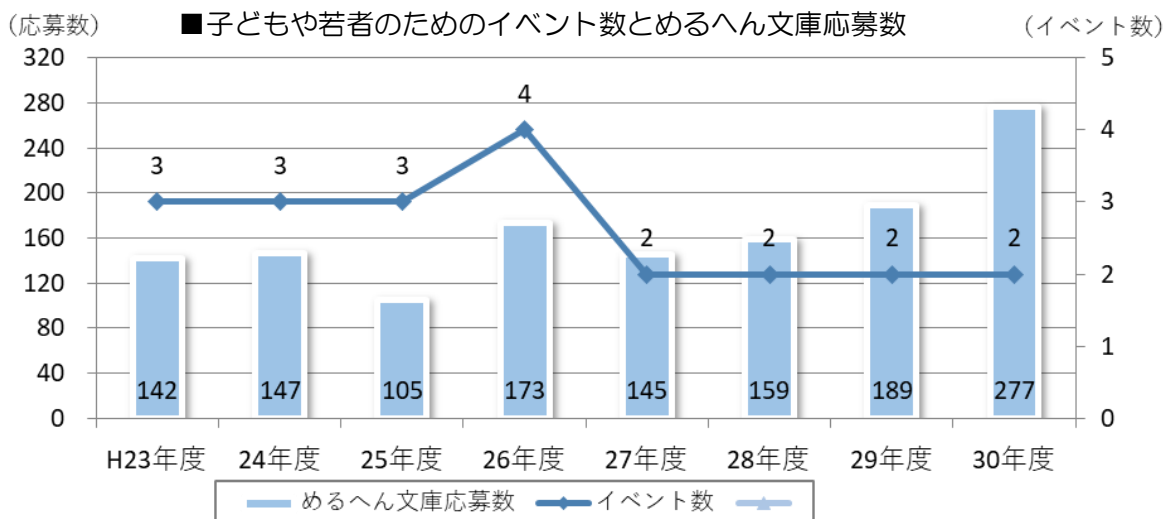
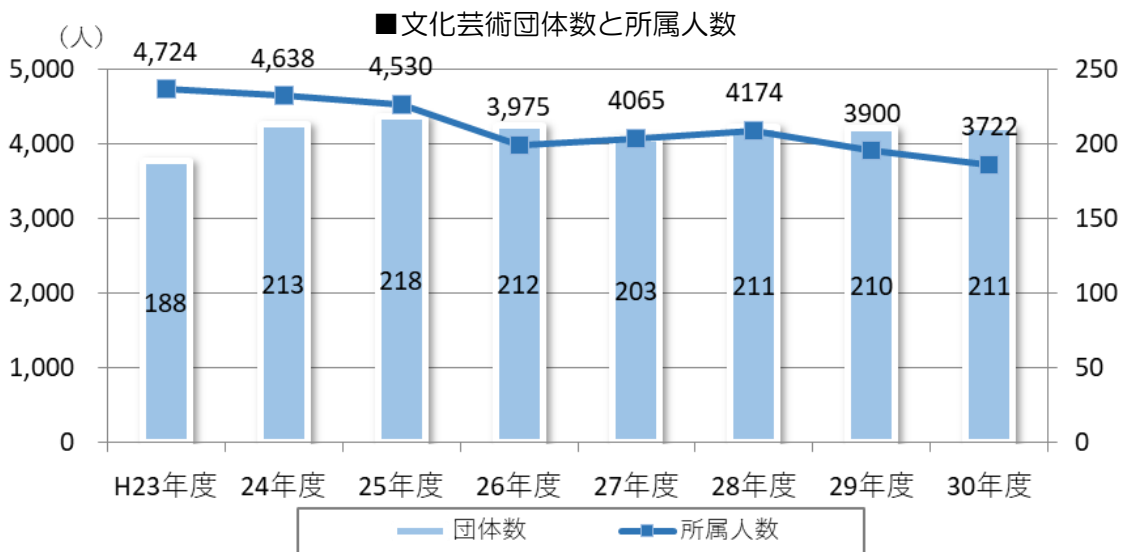
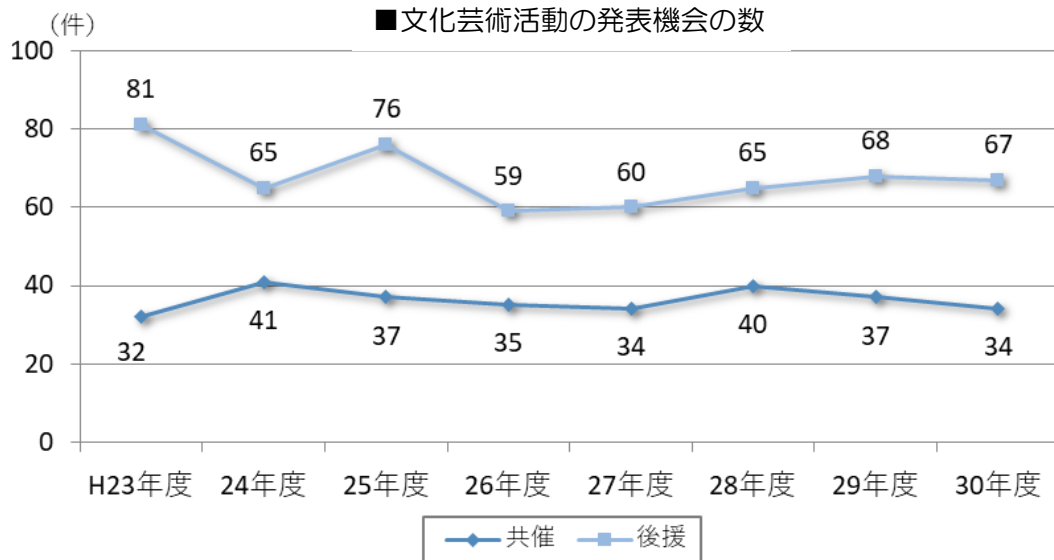
- 目標 【52301】子どもたちが心と体の発達に応じた教育を受けることができる。
 【52302】いじめや非行の防止に向けた取り組みが展開され、子どもたちが健全に成長している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
個別の教育支援計画の作成率 52301	97%	100%	97%	98%	100%	100%
不登校の出現率(小中学校の合計) 52301	1.6%	1.6%	1.6%	1.8%	1.7%	1.2%
学級内に自分の居場所があり、学校生活を意欲的におくっている児童・生徒の割合 (Q-U検査において学級生活満足群に属する児童・生徒) 52302	59.1%	61%	62.3%	61.8%	62.2%	65%
子ども110番の家の設置数 52302	804か所	709か所	679か所	660か所	657か所	830か所

第三章 文化芸術活動への支援と地域文化の継承

第一節 文化芸術の振興

現状



目標・指標

目標

【53101】 市民や文化団体などによる自主的な文化芸術活動が活発に行われている。

【53102】 新たに文化芸術に親しむ市民が増えるとともに、新たな文化芸術活動が創出されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
文化芸術活動の発表 機会の数 (文化・スポーツ課が 共催・後援した事業 数) 53101	94 件	94 件	105 件	105 件	101 件	115 件
文化芸術活動の発表機 会への入場者数 53101	14,990 人	29,147 人	124,487 人	57,207 人	50,466 人	56,000 人
文化芸術団体の数 53102	212 団体	203 団体	211 団体	210 団体	211 団体	220 団体
文化芸術団体に所属す る人の数 53102	3,975 人	4,065 人	4,174 人	3,900 人	3,722 人	4,600 人
子どもや若者のための イベントへの入場者数 53102	265 人	3,959 人	828 人	1,108 人	1,476 人	1,500 人

【主な変更点及び理由】

○文化芸術活動の発表機会への入場者数、子どもや若者のためのイベントへの入場数
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第二節 地域文化の保存と継承

現状

■郷土芸能祭に出演している郷土芸能団体・クラブ

あびこふるさと会	古戸はやし連中
ひよっところ睦	我孫子第四小学校伝統芸能クラブ
湖北小学校郷土芸能クラブ	布佐小学校郷土芸能クラブ
布佐中学校郷土芸能講座	計 7 団体

目標・指標

目標

【53201】郷土芸能団体の活動内容が市民に広く認識されているとともに、後継者の育成が進んでいる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
郷土芸能団体と郷土芸能クラブの数 53201	7	7	7	7	7	7
市が主催した生活文化・郷土芸能にふれるイベントの数 53201	1 件	1 件	1 件	1 件	1 件	2 件
生活文化・郷土芸能にふれるイベントの入場者数 53201	352 人	450 人	340 人	364 人	347 人	450 人

第三節 歴史的・文化的遺産の保存・活用

現状

■指定文化財・登録文化財一覧

県指定文化財			
とうげんじ まがや 東源寺の榎ノ木	柴崎 170	天然記念物	昭和 10 年 8 月 23 日指定
すいじんやま 水神山古墳	高野山 439 外 (香取神社)	史跡	平成 4 年 2 月 28 日指定
そうまくんがしやうそつあと 相馬郡衙正倉跡	日秀 60-6 外 (湖北特別支援学校)	史跡	平成 7 年 3 月 14 日指定
けつほんきやう 正泉寺の血盆経信仰資料	湖北台 9-12-36 (正泉寺)	有形民俗文化財	平成 10 年 3 月 20 日指定
かなづか 金塚古墳出土遺物	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 24 年 3 月 16 日指定
市指定文化財			
にじゅういちがつむさしいいたび 二十一仏武蔵石板碑	中峠 1148 (天照神社)	有形文化財	平成 7 年 5 月 11 日指定
にんあみ どうほち 仁阿弥道八作「陶製仁王像」	根戸 1778 (妙蓮寺)	有形文化財	平成 13 年 10 月 29 日指定
さいほうひながた 裁縫雛形	我孫子 1684 (教育委員会)	有形民俗文化財	平成 14 年 7 月 31 日指定
新木東台遺跡出土地名・人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
西大作遺跡出土地名・人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
羽黒前遺跡出土人名墨書土器	我孫子 1684 (教育委員会)	有形文化財	平成 15 年 7 月 1 日指定
中里薬師堂薬師三尊像及び十二神将像	中里 238	有形文化財 (彫刻)	平成 18 年 3 月 6 日指定
旧村川別荘	寿 2-27-9	史跡	平成 19 年 5 月 30 日指定
古戸里神楽	古戸地区	無形民俗文化財	平成 20 年 7 月 31 日指定
旧杉村楚人冠邸	緑 2 丁目 2208-1 外	有形文化財 (建造物)	平成 22 年 1 月 29 日指定
志賀直哉邸跡書斎	緑 2 丁目 1975-1	有形文化財 (建造物)	平成 23 年 3 月 31 日指定
ふきあえず 尊不合神社本殿・拝殿 つげたり 附 二の鳥居	新木 1812 外	有形文化財 (建造物)	平成 24 年 3 月 29 日指定
旧井上家住宅母屋・二番土蔵・新土蔵・旧漕場・表門・裏門 つげたり 附 庭門及び両脇屋根塀、裏門両脇屋根塀 土地	相島新田字堀前 1	有形文化財 (建造物)	平成 24 年 12 月 28 日指定
日立精機 2 号墳	我孫子 2 丁目 1-88	史跡	平成 26 年 2 月 28 日指定
ヒカリモ発生地	岡発戸 807 番、814 番、815 番の各一部の区域 (谷津ミュージアム)	天然記念物	平成 28 年 2 月 29 日指定
白泉寺 待道講版木 附 待道講資料 つげたり	我孫子市岡発戸 5 4 1 番地 (白泉寺)	有形民俗文化財	平成 31 年 2 月 28 日指定

目標・指標

目標

- 【53301】 史跡などの文化財の保存・整備・活用が進んでいる。
- 【53302】 埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究が進み、報告書や資料集が刊行されている。
- 【53303】 市内外の人々に対して、我孫子の歴史や文化について知る機会が充分提供されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
市の指定文化財の数 53301	14	15	15	15	16	21
文化財施設等の年間 見学者数 (杉村楚人冠記念館、 旧村川別荘、白樺文学 館の合計) 53301	16,710 人	15,885 人	16,957 人	17,150 人	16,035 人	20,100 人
市史や埋蔵文化財に 関する刊行物の累計 53302	122 冊	127 冊	132 冊	139 冊	144 冊	150 冊
「文化財展」への入場 者数 53303	2,614 人	1,073 人	875 人	667 人	784 人	3,000 人
文化財関連ウェブサ イトへの年間アクセ ス数 (電腦考古博物館、杉 村楚人冠記念館、旧村 川別荘、白樺文学館、 各イベント等の掲載 ページへのアクセス 数) 53303	36,041 件	39,034 件	87,538 件	139,952 件	98,373 件	140,000 件

第六部 都市基盤

第一章 適正な土地利用の実現

第一節 適正な土地利用の実現

現状

■地区計画の決定状況

地区名	面積 (ha)	目 標	決定・変更日
つくし野西地区	4.9	良好な住環境の維持と保全	平成元年3月14日決定 平成5年6月25日変更 平成8年10月1日変更
新木駅南側地区	55.8	土地区画整理事業により形成される良好な都市環境の維持と増進	平成7年2月28日決定 平成12年3月28日変更
つくし野5丁目地区	1.0	計画的な宅地開発により形成される都市環境の維持と増進	平成8年10月1日決定 平成13年8月28日変更
つくし野北地区	8.7	良好な住環境の維持と保全	平成10年11月20日決定
高野山宮脇地区	1.7	土地区画整理事業により整備される良好な住環境の形成	平成12年2月4日決定
高野山東地区	26.0	低層住宅を中心とした住宅市街地の形成と手賀沼沿い斜面林の保全・再生	平成17年2月25日決定 平成18年2月17日変更
緑1丁目地区	2.4	良好な住環境の保全	平成18年8月18日決定
布佐駅南側地区	12.7	「文化が香る、緑豊かな安心して暮らせるまち 布佐」にふさわしい良好な市街地の形成	平成19年2月23日決定
我孫子新田地区	3.1	手賀沼の観光振興にふさわしい、魅力とにぎわいのある良好なまちなみの形成	平成29年6月13日決定
合 計	116.3		

目標・指標

目標

- 【61001】 地区特性等に応じた適正な土地利用が行われている。
- 【61002】 開発行為や建築行為の適正な規制・誘導が行われている。
- 【61003】 良好な市街地が整備されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「適正な土地利用の実現」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 61001	—	28.9%	—	—	23%	35%
産業や観光の振興など新たな都市の発展を担う都市的土地利用の実現 61001	0 地区	0 地区	0 地区	1 地区	1 地区	1 地区
開発行為に関する条例等に基づいて適正な開発行為の誘導が図られた割合 (開発許可件数／開発許可申請件数) 61002	100%	100%	100%	100%	100%	100%
布佐駅南側の地区計画によるまちづくりの進捗率 61003	59%	84%	91%	100% (完了)	完了	

【主な変更点と理由】

○布佐駅南側の地区計画によるまちづくりの進捗率

平成 29 年度に事業完了

第二章 良好な住環境を支える生活基盤の整備

第一節 公園・緑地の整備・充実

現状



目標・指標

目標

【62101】公園・緑地の機能と配置に配慮した整備がされている。

【62102】市民による公園づくりや自主的な管理が広がっている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
公園の数 62101	215 か所	217 か所	217 か所	218 か所	219 か所	220 か所
公園・緑地の面積 62101	149ha	150ha	150ha	150ha	150ha	158ha
市民手づくり公園の 活動団体数 62102	9 団体	9 団体	9 団体	10 団体	10 団体	20 団体
市民手づくり公園の 数 62102	11 か所	11 か所	11 か所	12 か所	12 か所	25 か所

第二節 下水道整備の推進

現状

■ 下水道普及状況

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全体計画面積 (ha)	2,334	2,334	2,334	2,334	2,334	2,334	2,334	2,334
整備済み面積 (ha)	1,256	1,263	1,275	1,279	1,297	1,300	1,316	1,322
整備率(%)	53.8	54.1	54.6	54.8	55.6	55.7	56.4	56.6
行政人口 (人)	133,749	133,923	133,558	133,044	132,715	132,401	132,231	132,167
供用区域内の処理人口 (人)	109,139	110,142	109,838	109,513	109,924	110,545	111,270	111,616
普及率(%)	81.6	82.2	82.2	82.3	82.8	83.5	84.1	84.5

目標・指標

目標

【62201】市街化区域内の下水道整備が進んでいる。

【62202】下水道事業が健全に経営されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
下水道の整備率 (下水道の整備済み区域の面積/下水道の計画区域の面積) 62201	54.8%	55.6%	55.7%	56.4%	56.6%	58%
下水道の普及率 (下水道の整備済区域内人口/住民基本台帳人口) 62201	82.3%	82.8%	83.5%	84.1%	84.5%	85%
重要な管渠の地震対策実施率 (重要な管渠のうち、耐震化または減災対策が行われている延長/重要な管渠の延長) 62201	16.5%	20.2%	25.3%	29.1%	34.2%	48%
水洗化率 (下水道への接続人口/下水道の整備済区域内人口) 62202	99.4%	99.4%	99.2%	98.8%	98.7%	100%
下水道使用料の徴収率 (納付額/請求額) 62202	98.7%	98.7%	98.6%	98.6%	98.7%	100%
受益者負担金の徴収率 (納付額/賦課額) 62202	94.6%	94.6%	94.7%	91.5%	95.3%	<u>100%</u>

【主な変更点と理由】

○受益者負担金の徴収率

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第三節 上水道の安定供給

現状

■上水道普及状況

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
給水区域内 人口(人)	135,446	134,314	133,936	133,410	133,072	132,756	132,576	132,493
給水人口 (人)	127,722	126,592	126,227	124,792	124,069	123,548	123,193	123,526
給水戸数 (戸)	52,808	53,035	53,389	53,862	54,240	54,710	55,278	56,048
普及率(%)	94.3	94.3	94.2	93.5	93.2	93.1	92.9	93.2
給水量(千 m ³ /年)	12,809	12,721	12,523	12,407	12,446	12,308	12,527	12,543
有効水量 (千m ³ / 年)	12,522	12,373	12,225	12,087	12,083	11,926	12,004	11,968
一日最大給 水量(m ³ / 日)	40,006	39,108	39,225	38,757	38,445	38,734	37,123	39,003
一人一日平 均給水量 (ℓ)	274	275	272	272	274	273	279	278

目標・指標

目標

【62301】安全な水が安定して供給されている。

【62302】水道局の経営基盤が強化されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「上水道の安定供給」 施策に対する市民満足度 (市民アンケートで 「満足」・「やや満足」 と回答した人の割合) 62301	—	62.5%	—	—	50.7%	70%
水道普及率 (給水人口／給水区域 内人口) 62301	93.5%	93.2%	93.1%	92.9%	93.2%	<u>93.9%</u>
有収率(収入となった 水量の割合) 62301	97.3%	97.0%	96.8%	95.7%	95.3%	<u>97.5%</u>
有効率(有効に使用し た水量の割合) 62301	97.4%	97.1%	96.9%	95.8%	95.4%	<u>97.6%</u>
総収支比率 (総収益／総費用) 62302	116.9%	114.4%	116.3%	115.4%	116.5%	111.2%
水道料金の収納率 (収納金額／確定調 定額) 62302	95.9%	96.3%	95.4%	95.8%	96.0%	100%

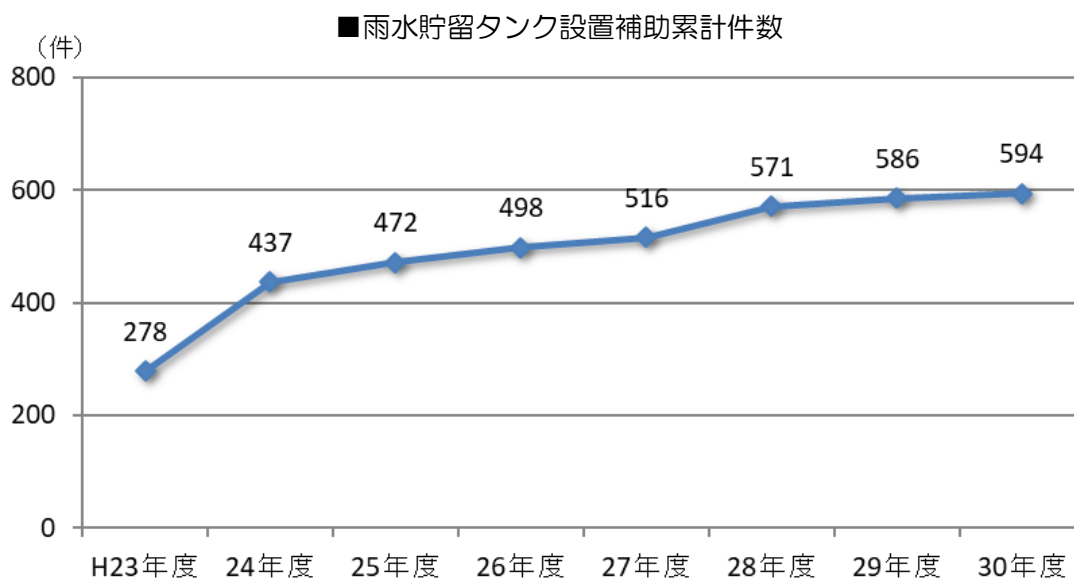
【主な変更点及び理由】

○水道普及率(給水人口／給水区域内人口)、有収率(収入となった水量の割合)、有効率(有効に使用した水量の割合)

平成30年度に策定した水道事業基本計画(計画期間2019～2028)に合わせた目標値の修正

第四節 都市排水施設の整備・充実

現状



目標・指標

目標

【62401】常襲的な浸水被害発生地区の浸水被害が軽減されている。

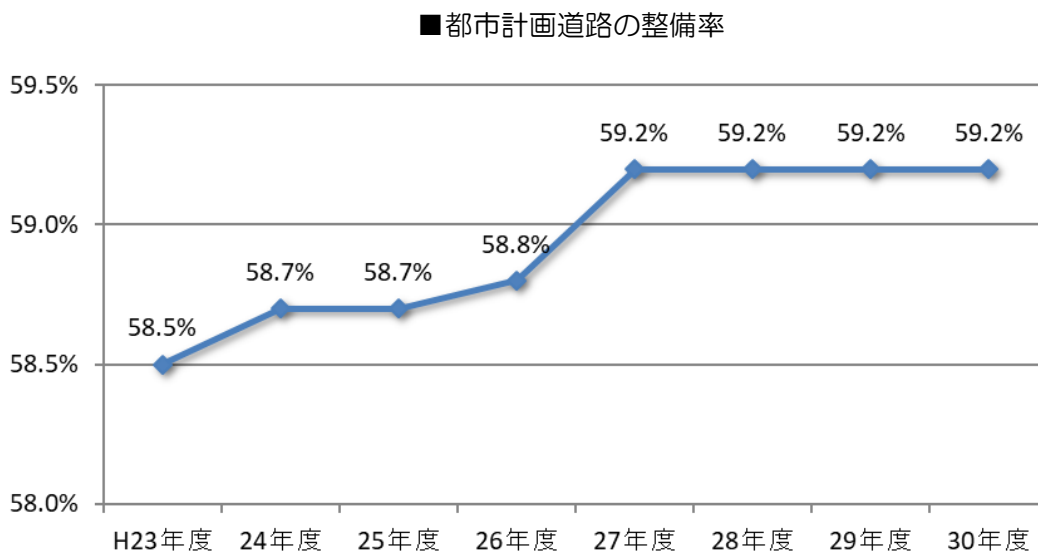
【62402】雨水貯留タンクや雨水浸透施設の設置が促進されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
都市浸水対策達成率 (整備完了面積/事業計画区域面積) (※「都市浸水対策達成率(整備完了面積/認可区域面積)」から変更) 62401	- (61%)	- (62%)	- (64%)	- (64%)	- (65%)	67% (75%)
雨水貯留タンク設置補助累計基数 62402	499 基	517 基	571 基	586 基	594 基	600 基

第三章 総合的な交通環境の整備

第一節 幹線道路網の整備

現状



目標・指標

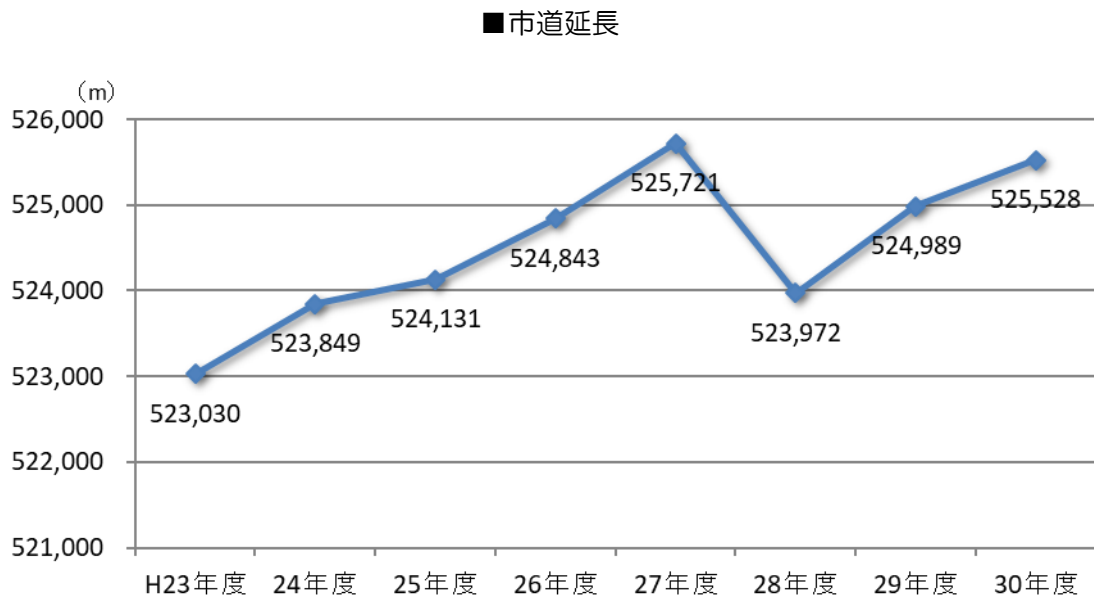
目標

- 【63101】 幹線道路網が、市を取り巻く広域交通網や将来交通需要の変化に対応している。
- 【63102】 幹線道路での円滑で快適な交通流動が確保されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「幹線道路網の整備」施策 に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」 「やや満足」と回答した人の割合) 63101	—	37.4%	—	—	32.1%	45%
都市計画道路の整備率 63102	58.8%	59.2%	59.2%	59.2%	59.2%	59.4%

第二節 生活道路の整備

現状



目標・指標

目標

- 【63201】安全で快適な生活道路が整備されている。
- 【63202】安全で快適に通行できるよう適切な維持管理が行われている。
- 【63203】その地域や道路にふさわしい、魅力ある快適な道路空間となっている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
下新木踏切道の歩道 整備延長(200m) 63201	0%	0%	0%	0%	0%	100% (令和2年度)
市道24-003号 線等(妻子原地先) の改良事業の進捗率 (※「市道24-0 03号線等(妻子 原地先)の改良整備 延長(161m)」から 変更) 63201	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)	- (0%)	5% (100%)
市道の舗装率 63202	90.61%	90.47%	90.43%	90.45%	90.47%	90.72%
「安全で快適な道路 交通環境の整備」施 策に対する市民満足 度 (市民アンケートで 「満足」・「やや満足」 と回答した人の割 合) 63202	—	34.8%	—	—	32.8%	40%

【主な変更点及び理由】

- 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良整備延長(161m) → 市道24-003号線等(妻子原地先)の改良事業の進捗率
本線自体の整備は、支障物件等の理由により進捗していないが、待避所等周辺整備は行っていくことから指標と目標値を変更

○自治会が管理するLED街路灯の設置率

現在は、「【12101】温室効果ガスの排出量が削減されている。」ことを目的に推進していることから、本項目から削除

第三節 徒歩・自転車環境の整備

現状

■ 歩道・自転車道の延長 (m)

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
歩道が設置されている道路	56,679	56,669	56,669	56,669	56,879	56,660	56,624	56,764
利根川沿いの自転車道	6,924	6,924	6,924	6,924	6,924	6,924	6,924	6,924

目標・指標

目標

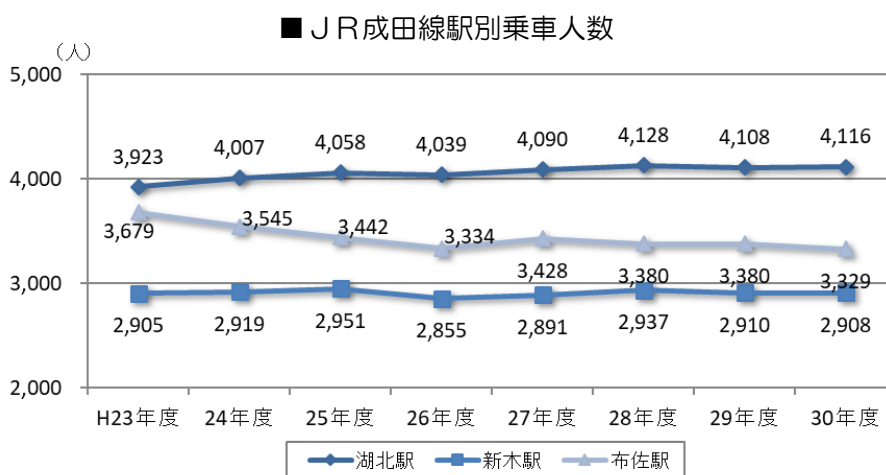
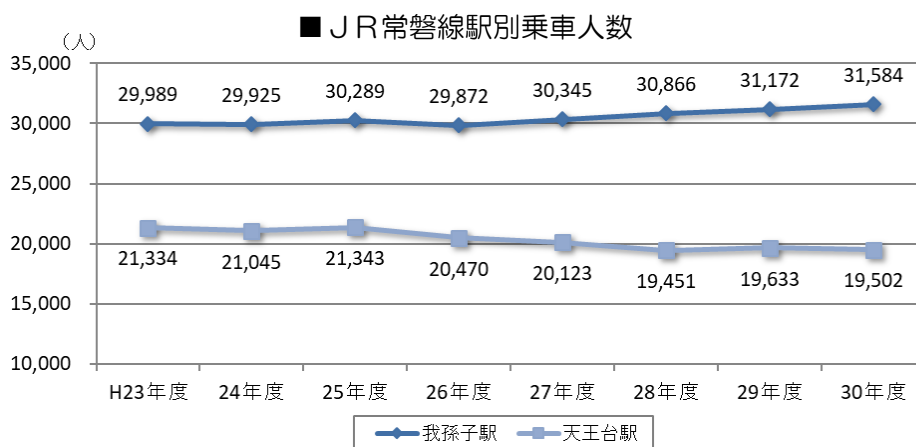
【63301】 徒歩・自転車交通の安全性と快適性が高まっている。

【63302】 各駅周辺で快適な歩行者空間が創出されている。

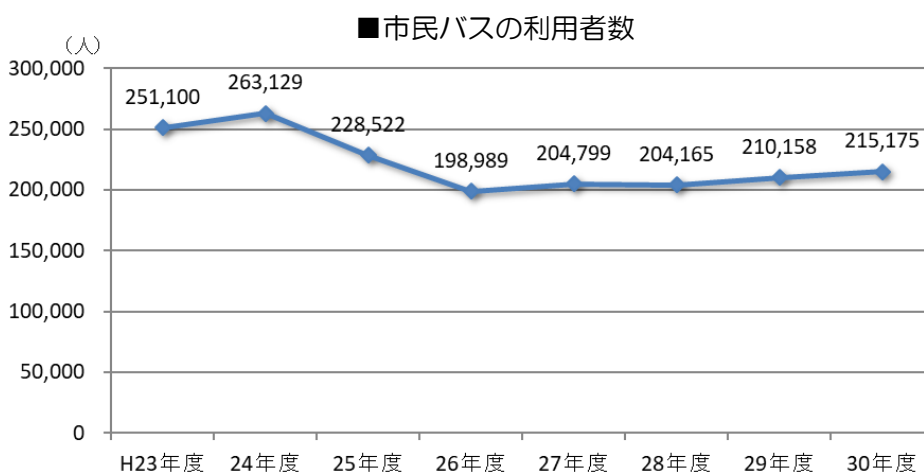
指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
バリアフリーお出かけマップで改良を要するとされた52か所についての累計改良数 63301	46か所	46か所	46か所	46か所	46か所	52か所
天王台南口（あやめ通り、天王台南口駅前広場から我孫子郵便局まで）点字ブロックの整備延長 63301	202m	302m	402m	502m	600m (完了)	
放置自転車の年間返還台数 63302	733台	392台	935台	520台	453台	873台
一時使用を除く自転車駐車場利用率 63302	78%	78%	78%	76%	76%	80%

第四節 公共交通の利便性の向上

現状



※東我孫子駅は把握していない。



目標・指標

目標

【63401】 J R成田線と J R常磐線の輸送力が強化され、利便性も向上している。

【63402】 市民が、安全で快適にバスを利用している。

【63403】 市民が、安全で快適に駅施設を利用している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
J R成田線の増発本数 63401	0本	0本	0本	0本	0本	2本
我孫子駅に停車する常磐線特別快速の往復本数 63401	0本	0本	0本	0本	0本	6本
常磐線・成田線の東京駅乗り入れの往復本数 63401	33本	33本	33本	37本	37本	<u>37本</u>
市民バスの利用者数 63402	198,989人	204,799人	204,165人	210,158人	215,175人	220,000人
送迎バス利用者の登録数(隔年) 63402	1,480人	—	1,600人	—	2,000人	<u>2,200人</u>
自由通路の累計整備箇所数 63403	2か所	2か所	2か所	3か所(完了)	完了	
各駅のエレベーターの累計設置数 63403	12基(うち、駅構内4基)	12基(うち、駅構内4基)	15基(うち、駅構内5基)	15基(うち、駅構内5基)	15基(うち、駅構内5基)	<u>19基(うち、駅構内9基)</u>
各駅のエスカレーターの累計設置数 63403	21基(うち、駅構内11基)	21基(うち、駅構内11基)	23基(うち、駅構内11基)	23基(うち、駅構内11基)	23基(うち、駅構内11基)	<u>23基(うち、駅構内11基)(28年度完了)</u>

【主な変更点及び理由】

○常磐線・成田線の東京駅乗り入れの往復本数

平成29年度に目標を達成したことから、現状本数を維持するため目標値を修正

○送迎バス利用者の登録数(隔年)

65歳以上の利用対象者の増及び導入からの周知が進んでいる結果、目標値を上方修正

○各駅のエレベーターの累計設置数

新たに我孫子駅構内エレベーターの設置を進めていることから目標値を上方修正

○各駅のエスカレーターの累計設置数

平成28年度に新木駅の橋上駅舎完成に伴い、エスカレーターの整備が完了したことから目標達成

第五節 交通安全

現状

■交通事故発生状況

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
交通事故発生件数(件)	407	352	389	343	341	294	280	285
死者(人)	7	3	2	0	2	3	3	2
負傷者(人)	489	438	497	411	427	368	334	347

目標・指標

目標

【63501】市民の交通安全意識が高まっている。

【63502】安全な交通環境が整備されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和3年度
交通安全指導の実施回数 63501	37回	48回	48回	53回	46回	<u>46回</u>
危険箇所共同現地診断における交通安全施設の整備数 63502	24か所	25か所	28か所	29か所	30か所	<u>33か所</u>

【主な変更点及び理由】

○交通安全指導の実施回数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正(これまでの実績値の平均値に修正)

○危険箇所共同現地診断における交通安全施設の整備数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第四章 良質な住宅供給の促進

第一節 良質な住宅供給の促進

現状

■市営住宅・小規模改良住宅の状況（平成 30 年度）

	棟数	戸数
根古屋団地	4	54
小暮団地	5	90
日秀団地	2	40
栄団地	1	16
東我孫子 A 団地	2	24
東我孫子 B 団地	3	36
北原団地	1	35
布佐東部地区小規模改良住宅	5	11

目標・指標

目標

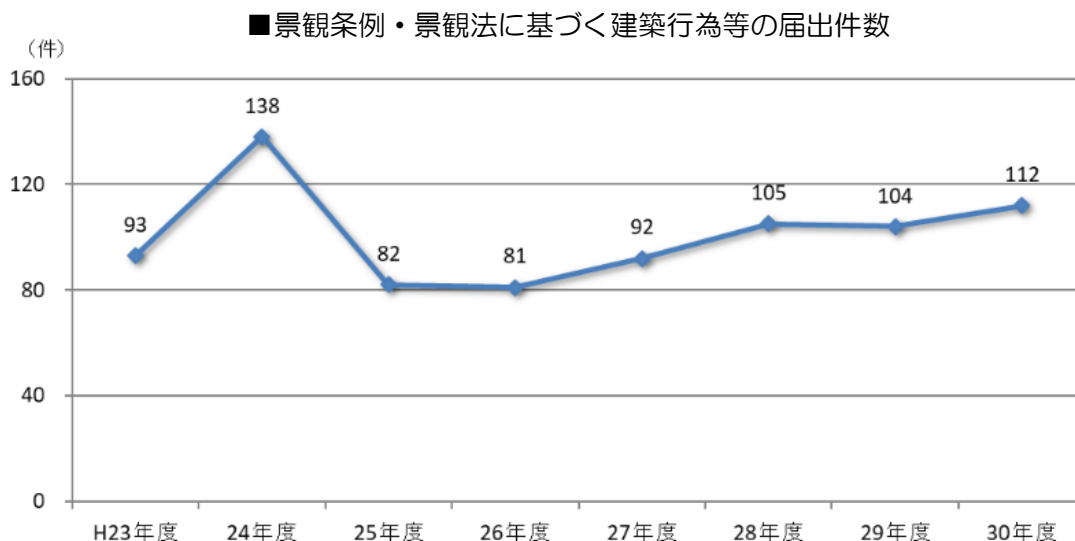
- 【64001】市営住宅の良質化や安全性が向上しているとともに、効率的な供給がされている。
- 【64002】定住化につながる住宅支援策が充実している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
老朽化した市営住宅 の大規模改修完了棟 数 64001	8 棟	10 棟	12 棟	15 棟	17 棟	18 棟
市営住宅の平均入居 率 64001	99.67%	96.61%	95.25%	95.59%	93.89%	100%
住宅・不動産相談の実 施件数 64002	40 件	57 件	39 件	30 件	45 件	55 件

第五章 魅力あるまち並みの実現

第一節 魅力あるまち並みの実現

現状



目標・指標

目標

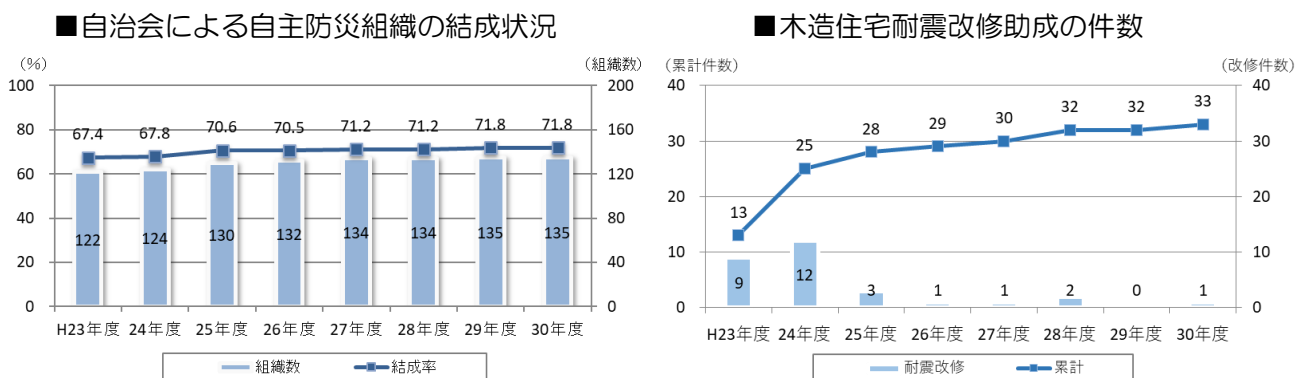
- 【65001】 魅力あるまち並みを保全・育成する市民の意識が高まっている。
- 【65002】 調和のとれた優れた景観づくりが行われている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「魅力あるまち並みの実現」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 65001	—	33.6%	—	—	25.5%	40%
景観誘導協議合意率 (協議済案件数/景観計画区域内行為事前協議件数) 65002	100%	100%	100%	100%	100%	100%
公共事業の景観形成基準への適合率 (協議済案件数/国の機関又は地方公共団体が行う届出対象行為の通知件数) 65002	100%	100%	100%	100%	100%	100%

第七部 防災・防犯・危機管理

第一節 災害に強いまちの実現

現状



目標・指標



- 【70101】 地域における自主防災組織が育成されている。
- 【70102】 市民の避難場所・避難路が確保され、防災施設・備蓄品が整備されている。
- 【70103】 旧耐震設計基準の建築物の建替えや耐震改修が行われている。
- 【70104】 利根川・手賀沼の水防体制が維持されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
自治会による自主防災組織の組織率 70101	71%	71.3%	71.2%	71.8%	71.8%	75%
自主防災訓練の参加者数 70101	6,135 人	8,125 人	7,545 人	7,564 人	7,664 人	7,400 人
非常用食糧の備蓄量 70102	90,220 食	93,492 食	95,000 食	102,000 食	112,000 食	120,000 食
木造住宅耐震診断助成の累計件数 70103	20 件	23 件	28 件	29 件	34 件	100 件
木造住宅耐震改修助成の累計件数 70103	29 件	30 件	32 件	32 件	33 件	68 件
河川合同巡視の参加率 70104	100%	100%	0%	100%	100%	100%

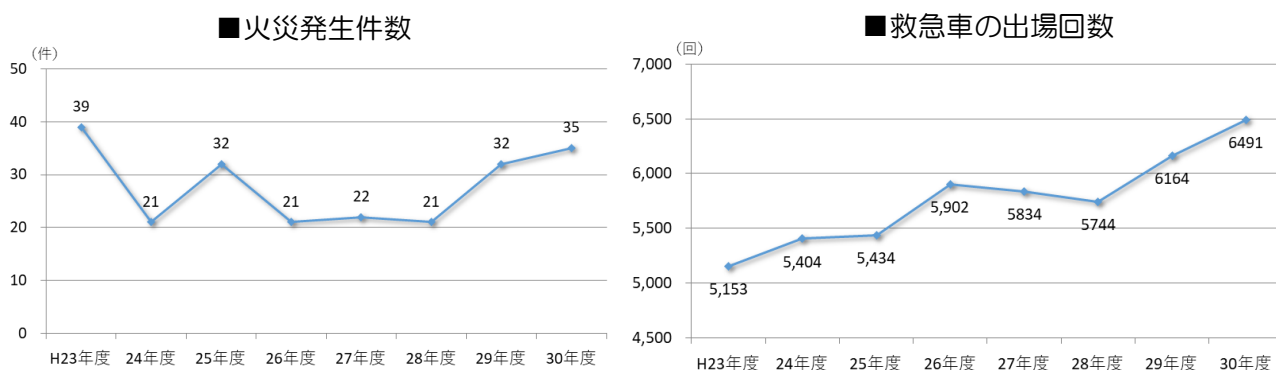
【主な変更点及び理由】

○自主防災訓練の参加者数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正（これまでの実績値の平均値に修正）

第二節 消防体制・救急救助体制の強化

現状



目標・指標

目標

- 【70201】消防体制が、火災や水害などの災害に迅速に対応できるよう強化されている。
- 【70202】救急救助体制が、救急救助出場に迅速に対応できるよう強化されている。
- 【70203】消防団や関係機関が活性化し、地域防災力が強化されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
災害出動覚知から現場まで8.5分以内に到着できた割合 70201	86.3%	84.8%	84%	81.5%	82.8%	100%
救急救助覚知から現場まで8.5分以内に到着できた割合 70202	64.0% (7.5分以内)	53.0% (7.5分以内)	55.8%	60.9%	62.3%	100%
救急救命士配置人数 70202	26人	29人	29人	32人	34人	40人
救命講習会年間受講者数 70202	4,766人	5,674人	5,505人	5,055人	6,722人	<u>8,000人</u>
消防団員数 70203	229人	234人	232人	231人	228人	266人
女性防火クラブ員数 70203	62人	63人	61人	59人	50人	142人

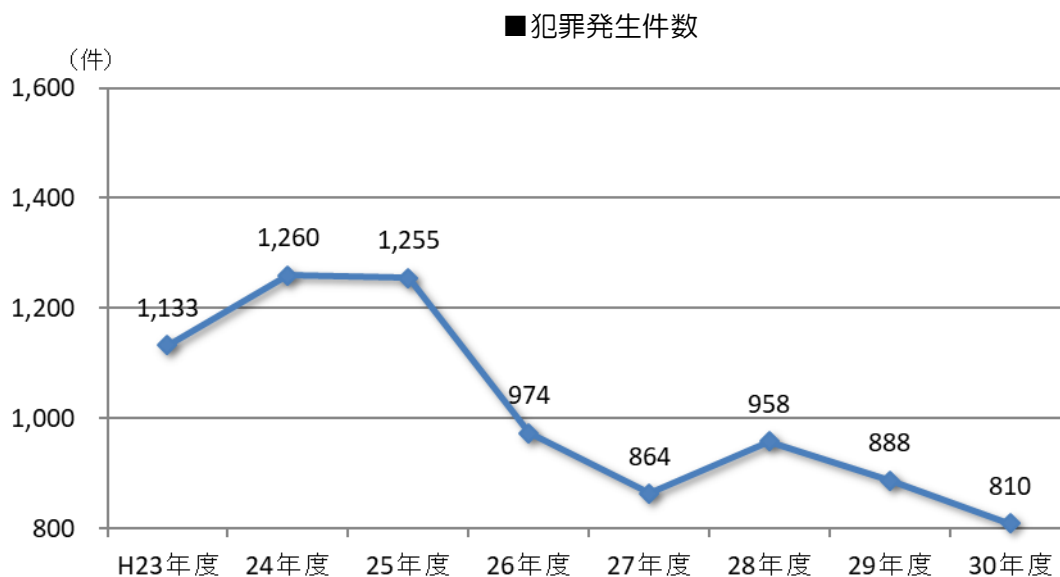
【主な変更点及び理由】

○救命講習会年間受講者数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第三節 犯罪のないまちの実現

現状



目標・指標

目標

【70301】市民の自主的な防犯活動が行われている。

【70302】市民が安全に生活できる環境が整備されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
地域における防犯活動の延べ取り組み回数 70301	12,090 回	12,220 回	12,378 回	12,121 回	12,516 回	13,000 回

【主な変更点及び理由】

○自治会が管理するLED街路灯の設置率

現在は、「【12101】温室効果ガスの排出量が削減されている。」ことを目的に推進していることから、本項目から削除

第四節 危機管理の推進

目標・指標

目標

【70401】 市民と職員の危機管理意識が高まっている。

【70402】 市民に対する的確な情報提供や効果的な感染防止策が実施されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「危機管理の取り組み」 施策の重要度 (市民アンケートで「重要」・「やや重要」と回答した人の割合) 70401	—	83.1%	—	—	75.4%	85%
新型コロナウイルス対策セット の備蓄数 70402	280 セット	280 セット	280 セット	28 0セット	280 セット	280 セット

第四編 計画推進のために

第一章 市民と市が協働ですすめるまちづくりの推進

第一節 市民と市の情報共有の推進

現状

■市ウェブサイトへのアクセス件数



※平成27年7月1日のホームページリニューアルに伴い、アクセス数の捉え方が変わりました。

■「市政への手紙」と「市政へのメール」で寄せられた意見・要望件数（件）

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
手紙	341	307	337	301	310	241	168	214
メール	315	196	114	152	135	157	191	119
合計	656	503	451	453	445	398	359	333

■情報公開請求件数とその内訳（件）

	平成 23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
公開	68	59	67	94	50	18	15	26
部分公開	196	163	332	435	229	35	34	72
非公開	4	3	12	10	1	2	0	7
不存在	7	2	29	26	9	2	2	17
補正中	0	0	3	12	0	0	0	0
合計	275	227	443	577	289	57	51	122

【主な変更点及び理由】

情報公開請求件数のうち、途中で取り下げられた案件については、当初から請求されなかったこととなり、件数にはカウントされないことから表から削除する。

目標・指標

目標

- 【81101】市民に、市政や市民の暮らしに関する情報が正確にわかりやすく伝わっている。
- 【81102】市民の意見や要望を広く聴いて、それに対する市の考え方が伝わっている。
- 【81103】情報公開制度によって市の保有している情報が、市民に速やかにかつ適切に提供されている。
- 【81104】市の知名度やイメージの向上が図られている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
広報あびこの各世帯への配布率 81101	<u>98%</u>	95%	93%	92%	86%	100%
市ウェブサイトへの年間アクセス数 81101	162 万件	582 万件	592 万件	654 万件	681 万件	<u>800 万件</u>
市政への手紙・メールの受付件数 81102	453 件	445 件	398 件	359 件	333 件	450 件
市政ふれあい懇談会への参加者数 81102	309 人	284 人	282 人	277 人	249 人	400 人
情報公開請求全体に占める適正な情報公開の割合 (全請求－不服申立てに関し審査会で不適切であるとされた件数)／請求全体の件数 81103	100%	100%	100%	100%	100%	100%
ファイリングシステム維持管理点検評価の5段階評価のうちB評価(80点以上の割合) (※「ファイリングシステム維持管理評価の5段階評価のうちA評価(特に優れている)とB評価(優れている)の割合」から変更) 81103	- (92.9%)	- (90.2%)	- (81.5%)	- (64.7%)	61.5% (70.3%)	70% (96%)
市公式フェイスブックへの「いいね!」件数 81104	1,226 件	1,623 件	2,021 件	2,160 件	2,259 件	2,500 件
シティセールス動画へのアクセス数 81104	<u>1,142 件</u>	22,777 件	25,023 件	34,296 件	37,527 件	<u>40,000 件</u>

【主な変更点と理由】

○市ウェブサイトへの年間アクセス数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

○ファイリングシステム維持管理評価の5段階評価のうちA評価(特に優れている)とB評価(優れている)の割合 → ファイリングシステム維持管理点検評価の5段階評価のうちB評価(80点以上の割合)

評価方法の変更に伴う指標と目標値の変更

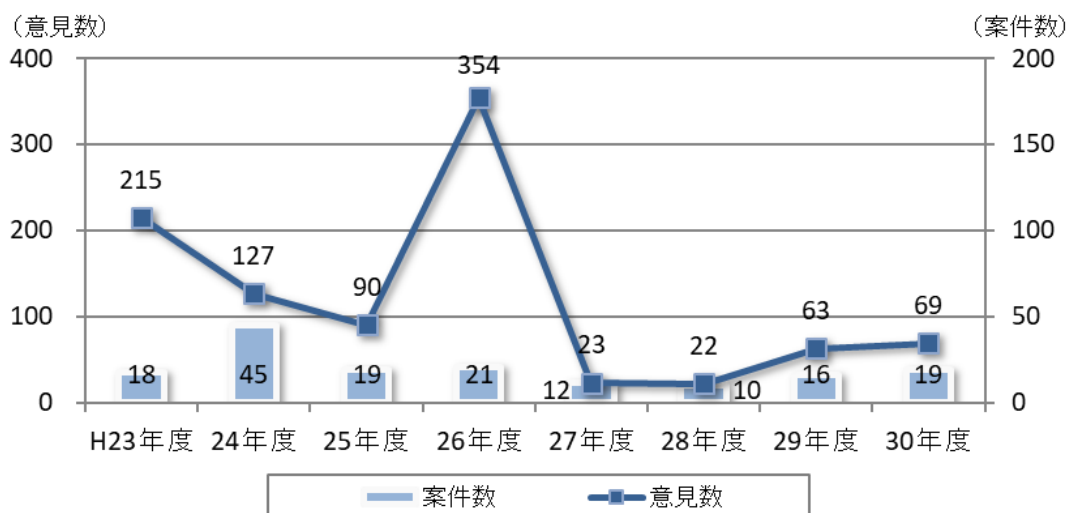
○シティセールス動画へのアクセス数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第二節 協働のしくみづくり

現状

■パブリックコメントの案件数・意見数



目標・指標

目標

【81201】 市民と市による協働のまちづくりが進んでいる。

【81202】 市民が、政策形成過程全般に広く参加している。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「市民と市が協働で進めるまちづくり施策」に対する満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 81201	—	38.4%	—	—	30.6%	45%
各種審議会などでの公募市民登用率 (公募委員の総数/公募枠のある審議会・委員会における委員の総数) 81202	18.9%	15.1%	15.2%	14.1%	15.5%	20%
eモニター制度の登録者数 81202	—	218人	236人	276人	248人	500人

第二章 地域コミュニティづくりの推進

第一節 地域コミュニティづくりの推進

目標・指標

目標 【82001】地域コミュニティを活性化する取り組みが展開されている。

指標名 (指標の説明など)	現況値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
地域会議の設置数 82001	1 か所	4 か所	5 か所	5 か所	5 か所	11 か所

第三章 総合的・効率的な行財政運営

第一節 総合的・計画的な行政運営

目標・指標

目標

- 【83101】 施策の総合性・統一性が確保されている。
- 【83102】 施策や事業が適切に進行管理されている。
- 【83103】 公共施設等が更新・統廃合・長寿命化されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
「総合的・効率的な行財政運営」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 83101	—	30.5%	—	—	19%	35%
指定事務事業の実施率 (問題点对応報告のない指定事務事業数/全指定事務事業数) 83102	90.3%	95.2%	87.5%	90.4%	88%	100%
公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定数 83103	4 計画	4 計画	5 計画	7 計画	14 計画	<u>26 計画</u>

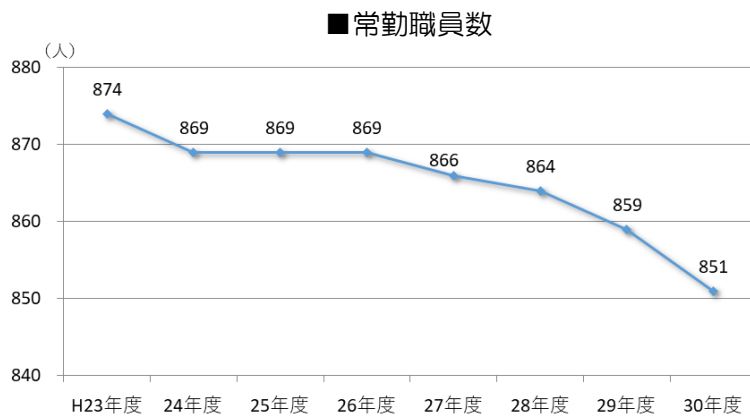
【主な変更点及び理由】

○公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定数

国の交付金や地方債を活用するため、積極的に策定に取り組むことから目標値の上方修正

第二節 行政改革の推進

現状



■市の組織数

	平成 23 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	部	課	部	課	部	課	部	課	部	課
市長部局	8	33	8	35	8	35	8	35	8	35
水道局	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
教育委員会事務局	2	8	2	8	2	8	2	8	2	8
消 防	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5
議会事務局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
監査委員事務局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
選挙管理委員会事務局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
農業委員会事務局	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合 計	16	52	16	54	16	54	16	54	16	54

目標・指標

目標

- 【83201】 職員が、少数精鋭で、地方分権の進展に対応できるよう育成されている。
- 【83202】 事業の民営化・委託化・指定管理者制度の導入が進んでいる。
- 【83203】 公有財産が、売却も含めて有効に活用されている。
- 【83204】 市民に使いやすいサービスが提供されている。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
常勤職員数 (各年度 4 月 1 日現在の常勤職員数) 83201	870 人	866 人	864 人	859 人	851 人	<u>857 人</u>
研修受講者の理解度 83201	85%	86%	82%	84.3%	82.3%	90%
提案型公共サービス民 営化制度により委託・民 営化した事業の累計数 83202	29 件	33 件	34 件	37 件	40 件	49 件
市有地 (普通財産) の売 却件数 83203	—	1 件	2 件	4 件	5 件	<u>6 件</u>
情報通信技術を活用し たサービスの数 83204	61 件	62 件	55 件	71 件	72 件	<u>80 件</u>

【主な変更点及び理由】

○常勤職員数 (各年度 4 月 1 日現在の常勤職員数)

令和元年に策定した第 8 次定員適正化計画 (令和 2 年～令和 4 年) に合わせた目標値の修正

○市有地 (普通財産) の売却件数

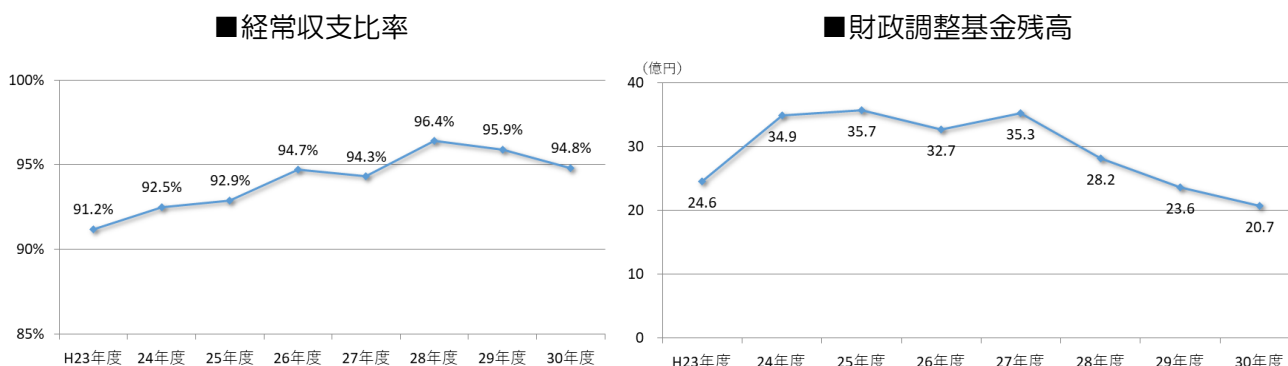
実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

○情報通信技術を活用したサービスの数

実績値が目標値を上回ったことによる上方修正

第三節 効率的・効果的な財政運営

現状



目標・指標

- 【83301】 中期財政計画が毎年見直され、より精度が高まっている。
- 【83302】 経常的経費が削減され、投資的経費が重点的・効果的に配分されている。
- 【83303】 自主財源を確保するとともに、依存財源を有効に活用している。

目標

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
財政調整基金の年度末残高 83301	32.7 億円	35.3 億円	28.2 億円	23.6 億円	20.7 億円	22 億円
市ウェブサイトの財政情報への年間アクセス数 83301	25,152 件	5,507 件	12,905 件	15,400 件	18,866 件	30,000 件
経常収支比率 (一般財源のうち市税などの経常的な収入に占める、人件費や公債費、物件費などの経常的な支出の割合) 83302	94.7%	94.3%	96.4%	95.9%	94.8%	92%
実質公債費比率 (標準的な税収と地方交付税を合わせた収入に占める、実質的な元利償還金の割合) 83302	1.5%	1.6%	1.3%	1.3%	1.0%	2.7%
市税(現年課税分)の徴収率 83303	98.4%	98.6%	98.9%	98.9%	98.9%	<u>99.0%</u>

第四章 広域行政の推進

第一節 広域行政の推進

現状

■広域連携の取り組み

区 分	構成など	内 容
東葛中部地区総合開発事務組合	柏市、流山市など	○障害者支援施設「みどり園」の運営 ○「ウイングホール柏斎場」の運営
近隣市町とのまちづくり連絡協議会	取手市	○公共施設の相互利用 我孫子市 市民体育館、老人福祉センターつつじ荘、利根川ゆうゆう公園野球場・サッカー場 取手市 取手グリーンスポーツセンター、藤代スポーツセンター、緑地運動公園有料施設他 ○図書館の相互利用
	利根町	○図書館の相互利用 ○栄橋の渋滞緩和策に関する調査・研究など
	柏市	○柏市・我孫子市まちづくり懇談会
	印西市	○印西市コミュニティバスの布佐地区乗り入れ
	柏市・流山市	○住民票・印鑑証明書・戸籍証明の共同発行
	東葛広域行政連絡協議会（東葛6市）	○国・県への要望
手賀沼・手賀川流域の活性化	手賀沼・手賀川活用推進協議会（柏市・印西市・千葉県など）	○手賀沼・手賀川周辺の魅力向上や交流人口の拡大、地域産業の活性化
手賀沼の浄化	手賀沼水環境保全協議会（千葉県、7市など）	○手賀沼とその流域の総合的な水環境の保全
公共交通の利便性向上	成田線・常磐線沿線の自治体	○JR東日本への働きかけ
災害応援協定	千葉県内全市町村と県外65市町村	○災害発生時における応急物資・資機材の提供、人員派遣などの相互支援
ごみ処理	東葛地域廃棄物行政連絡協議会	○災害等緊急時におけるごみ処理の相互支援

目標・指標

目標

【84001】 市民が利用できる近隣自治体の公共施設が増えている。

【84002】 近隣自治体等との連携によって広域的な課題への対応が進んでいる。

指標名 (指標の説明など)	実績値				現況値	目標値
	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 3 年度
相互利用している他自治体の公共施設数 84001	<u>10 か所</u>	10 か所	10 か所	10 か所	10 か所	12 か所
窓口業務を共同で行っている自治体数 84001	2 団体	2 団体	2 団体	2 団体	2 団体	2 団体
「広域行政の推進」施策に対する市民満足度 (市民アンケートで「満足」・「やや満足」と回答した人の割合) 84002	—	43.1%	—	—	34.4%	50%

7. 本文の見直しについて

記載ページ	旧	新	見直し理由
P 50、52	<u>新たな廃棄物処理施設（焼却施設と破碎処理施設）</u>	<u>新たな廃棄物処理施設（焼却施設）</u>	定義の変更 新クリーンセンター（新廃棄物処理施設とリサイクルセンター（破碎処理施設含む））
P 61	●今後は、地元企業が活性化できるよう、～省略～また、 <u>住工混在の解消を図り、企業相互間の関連性を強め、相乗効果で企業が活性化できるよう、企業の集団化に引き続き取り組んでいく必要があります。</u>	●今後は、地元企業が活性化できるよう、～省略～また、 <u>課題である住工混在の解消を図るため、企業立地方針を見直し、集団化用地の創出に向けた事業を進めていく必要があります。</u>	事業手法の見直しによる変更
P 63	●今後は、我孫子市が自立した都市として持続的に発展していけるよう、雇用や税収の確保につながる～省略～より一層、産業を振興していく必要があります。	●今後は、我孫子市が自立した都市として持続的に発展していけるよう、 <u>企業立地方針を見直し、産業拠点用地の創出にむけた事業を進めるほか、雇用や税収の確保につながる～省略～より一層、産業を振興していく必要があります。</u>	事業手法の見直しによる追加
P 93	また、国民健康保険の運営については、 <u>財政運営を県が担うこととし、保険税の徴収や保険事業の実施を市が担うなど制度改正が予定されています。</u>	また、国民健康保険の運営については、 <u>平成30年度から財政運営での責任主体として、県も保険者となりましたが、保険税の賦課・徴収や保険事業等の実施は引き続き市が行います。</u>	制度改正が行われたことによる内容の変更
P 103	また、まちづくり協議会などのコミュニティ活動を支えるため、近隣センターなどの施設を適切に維持管理するとともに、 <u>市民が利用しやすいよう、インターネットによる施設予約について検討していく必要があります。</u>	また、まちづくり協議会などのコミュニティ活動を支えるため、近隣センターなどの施設を適切に維持管理する（ <u>削除</u> ）必要があります。	システム導入済のため、削除

記載ページ	旧	新	見直し理由
P 104	<u>また、近隣センター利用者の利便性を向上するため、インターネットによる予約システムを導入していきます。</u>	<u>(削除)</u>	システム導入済のため、削除
P 111	<u>平成22年には、多文化共生という新しい国際化のあり方を踏まえた「第二次国際化推進基本方針」を策定し、外国人との交流や日本人の国際理解を進める「我孫子市国際交流協会」とともに、国際化への対応を進めてきました。</u>	<u>平成29年4月には「第三次国際化推進基本方針」を策定し、外国人との交流や日本人の国際理解を進める「我孫子市国際交流協会」とともに、国際化への対応を進めています。</u>	新たな方針策定に伴う変更
P 111	<u>また、小中学生が外国語や外国人をより身近に感じ国際感覚を身につけられるよう、小中学校の各クラスでALT（外国語指導助手）による授業を実施するとともに、日本在住の留学生を講師として招き、母国の文化・教育についての授業を実施するなど、国際理解教育を推進しています。</u>	<u>また、小中学生が外国語や外国人をより身近に感じ国際感覚を身につけられるよう、小中学校の各クラスでALT（外国語指導助手）による授業を実施しています。</u>	事業廃止による変更
P 117、118	<u>視聴覚ライブラリー</u>	<u>(削除)</u>	制度廃止による削除
P 137	<u>手賀沼文化拠点整備計画に基づき</u>	<u>(削除)</u>	計画期間満了に伴う削除
P 155、156	<u>街路灯のLED化、街路樹の選定</u>	<u>(削除)</u> <u>街路樹の剪定</u>	施策変更に伴う削除、誤字訂正

記載ページ	旧	新	見直し理由
P 159	<p>また、我孫子駅と天王台駅は、～省略～24時間通行可能な自由通路の整備が求められています。特に、<u>我孫子駅の自由通路については、市の中心拠点としてのにぎわいづくりや、駅北側の人口増、バリアフリー化に対応するため、JRの駅舎の改造に合わせて整備していく必要があります。さらに、我孫子駅構内へのエレベーターについては、JRと協議しながら早期設置を目指します。</u></p>	<p>また、我孫子駅と天王台駅は、～省略～24時間通行可能な自由通路の整備が求められており、<u>JR東日本の駅舎の大規模改造に合わせて整備を検討していく必要があります。我孫子駅では、市民から駅構内へのエレベーター整備を望む声が多く、早期設置に向けて、JR東日本と協力して事業を進めていく必要があります。</u></p>	<p>市民からの要望が多い、我孫子駅構内へのエレベーター設置を最優先に進めていることによる変更</p>
P 160	<p>○駅施設のバリアフリー化の推進 誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置するとともに、<u>我孫子駅と天王台駅では、自由通路の整備を検討します。また、駅構内のエレベーターの設置を支援します。</u></p>	<p>○駅施設のバリアフリー化の推進 誰もが安全で快適に駅施設を利用できるよう、新木駅では、自由通路を整備し、駅南口・北口にエレベーター・エスカレーターを設置しました。<u>今後は、我孫子駅構内のエレベーターの設置を支援します。</u></p>	<p>新木駅へのエレベーター・エスカレーター設置が完了したことによる変更。 市民からの要望が多い、我孫子駅構内へのエレベーター設置を最優先に進めていることによる変更</p>

資料

1. 第三次総合計画第三次基本計画の見直しについての諮問書

企画第141号
令和元年6月22日

我孫子市総合計画審議会
会長 藤井 敬宏 様

我孫子市長 星野 順一郎

我孫子市総合計画について（諮問）

本市では、平成14年4月に第三次総合計画をスタートし、「手賀沼のほとり心輝くまち ～人・鳥・文化のハーモニー～」の実現に向け、その推進を図ってきました。

本計画が令和4年3月に終了することから、令和4年度にスタートする第四次総合計画の策定を進めていきます。

市を取り巻く社会環境が大きな変化を迎えているなか、若い世代が住みたいまち、子どもから高齢者、障がいのある方など、誰もが安全・安心に暮らし続けることができるまちづくりの実現に向け、我孫子市総合計画条例第6条の規定に基づき、下記の事項について貴審議会に諮問します。

記

1. 第四次総合計画（基本構想・前期基本計画）の策定について
2. 第三次総合計画第三次基本計画の見直しについて

2. 第三次総合計画第三次基本計画の見直しについての答申書

令和元年12月22日

我孫子市長 星野 順一郎 様

我孫子市総合計画審議会
会長 藤井 敬宏

令和元年6月22日付け企画第141号「我孫子市総合計画について（諮問）」により諮問された「2. 第三次総合計画第三次基本計画の見直し」について、当審議会において審議した結果、次のとおり答申いたします。

記

1. 総括

これまで市が推進してきた第三次基本計画については、細部に関する検討が必要なものや遅延等があるものの、全般的には概ね妥当であると評価します。

施策における指標の目標値については、現在、策定中の第四次総合計画で、市民アンケートにおける満足度や現状を十分踏まえた上、適切な数値を設定するよう努めてください。

引き続き、市民と行政の協働のもと、本計画で示す将来都市像の着実な実現を求めるとともに、次の意見を付します。

2. 付帯意見

計画策定に伴い実施した、市民との意見交換や市民アンケートの結果を見ると、これまで積極的に取り組んできた子育て施策などは一定の評価を受けているものの、インフラ整備については厳しい意見をいただくとともに、施策の満足度は低く、施策の重要度は高くなっています。

我孫子の玄関口である我孫子駅と手賀沼を結ぶ「手賀沼公園・久寺家線の整備」は、事業を開始してから、かなりの時間を要していますが、未だに完成していない状況です。

そこで、人口減少社会に対応した施策に引き続き取り組むほか、手賀沼公園・久寺家線の早期完了を目指すとともに、市民生活に密着したインフラ整備に積極的に取り組んでください。

3. 第三次基本計画の見直しに係る策定参加者名簿

総合計画審議会委員名簿

氏名	所属・役職・職業等	備考
阿曾 義弘	我孫子市認定農業者協議会	
池田 優樹	我孫子市私立保育園等連絡協議会	
小田 麻子	あびこ市民活動ネットワーク幹事	
門脇 伊知郎	株式会社 J T B	
上村 英生	我孫子市商工会専務理事	
川合 瑞季	公募の市民（大学生）	
熊田 雅弘	大和電機株式会社代表取締役社長	
佐藤 香織	中央学院大学現代教養学部	
椎名 正夫	我孫子市民生委員児童委員協議会会長	
志賀 幸夫	けやき社会センター施設長	
白土 健司	株式会社千葉銀行我孫子支店支店長	
高橋 裕子	川村学園女子大学生生活創造学部 准教授	
武田 二郎	公募の委員	
田中 信子	介護支援専門員	
新妻 雄介	一般社団法人我孫子青年会議所理事長	
橋本 小都美	公募の市民（大学生）	
林 健一	中央学院大学現代教養学部准教授	副会長
藤井 敬宏	日本大学理工学部交通システム工学科教授	会長
松山 桃子	公募の市民（大学生）	
宮川 修	我孫子市環境審議会委員	
宮本 泰宏	公募の市民	
山内 智	株式会社イトーヨーカ堂	
山家 祥文	天王台北地区まちづくり協議会	
山下 裕	千葉県東葛飾地域振興事務所所長	
湯下 廣一	我孫子市社会福祉協議会会長	

※委員の任期は、令和元年6月22日から令和4年3月31日まで。

総合計画策定員委員名簿

職 名	氏 名	備 考
企画課長	長谷川 哲也	委員長
総務課長	山田 和夫	
情報政策課長	須賀 隆光	
秘書広報課長	飯田 秀勝	
あびこの魅力発信室長	深田 和彦	
施設管理課長	神戸 明	
資産経営課長	林 宏規	
財政課長	山元 真二郎	
市民活動支援課長	並内 秀樹	
市民安全課長	隈 正章	
社会福祉課長	三澤 直洋	
健康づくり支援課長	根本 久美子	
障害福祉支援課長	小池 斉	
高齢者支援課長	中光 啓子	
国保年金課長	小林 修	
子ども支援課長	荒井 康哲	
保育課長	星 範之	
子ども相談課長	阿部 政人	
手賀沼課長	海老原 郁夫	
クリーンセンター課長	伊藤 治	
商業観光課長	磯岡 由美	
企業立地推進課長	山本 康樹	
農政課長	松本 清	
道路課長	南川 秀一	
交通課長	増田 崇	
下水道課長	中野 伴春	
治水課 主幹	井戸 俊	
都市計画課長	森 晋野	
建築住宅課長	古泉 信明	
公園緑地課長	篠崎 啓一	
経営課長	嶋田 繁	
消防総務課長	飯塚 義浩	
学校教育課長	榊原 憲樹	
指導課長	戸塚 美由紀	
教育研究所長	遠藤 美香	
生涯学習課長	菊池 統	
文化・スポーツ課長	小林 由紀夫	
文化・スポーツ課 主幹	辻 史郎	

総合計画ワーキングチーム委員名簿

分科会名	所 属	氏 名	
第1分科会 【産業・都市基盤】	交通課	高倍 宗一郎	リーダー
	企業立地推進課	鈴木 邦治	サブリーダー
	商業観光課	工藤 文	
	農政課	秋田 芳博	
	農業委員会	富塚 隆則	
	手賀沼課	斉藤 幸弘	
	道路課	中村 貴政	
	下水道課	西澤 卓	
	治水課	近藤 宏樹	
	都市計画課	原田 雅子	
	公園緑地課	飯泉 章	
	市街地整備課	佐藤 雄司	
	水道局工務課	川村 憲司	
第2分科会 【健康福祉・市民活動・生涯学習】	社会福祉課	鈴木 将人	リーダー
	市民活動支援課	加崎 麻美	サブリーダー
	高齢者支援課	木内 さち子	
	障害福祉支援課	楠美 雅也	
	健康づくり支援課	千歳 真里	
	国保年金課	本庄 勇	
	文化・スポーツ課	今野 澄玲	
		横田 広美	
	生涯学習課	鳴島 道	
	図書館	穂村 喜代子	
第3分科会 【子ども・教育】	学校教育課	岡田 一男	リーダー
	子ども支援課	蛭原 弘治	サブリーダー
	保育課	三井 美穂	
	子ども相談課	宮路 進也	
	こども発達センター	糸澤 弘行	
	教育総務課	飯塚 直則	
	指導課	伊藤 晶子	
第4分科会 【安全安心・計画推進・環境】	市民安全課	住安 巖	リーダー
	消防総務課	井下田 佳弘	サブリーダー
	総務課	鈴木 徹	
	秘書広報課	藤代 健一	
	情報政策課	河村 雄貴	
	施設管理課	伊藤 悦郎	
	資産経営課	河合 真吾	
	財政課	海津 里史	
	市民課	加藤 恭子	
	建築住宅課	佐々木 博之	
	手賀沼課	倉島 千誉子	
	クリーンセンター	竹内 重雄	

我孫子市第三次総合計画
第三次基本計画見直し
令和2年2月

発行 我孫子市

編集 我孫子市企画財政部企画課

〒270-1192 千葉県我孫子市我孫子 1858 番地

電話：04-7185-1111（代表）